令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

社会福祉法人　同胞互助会

目　次

1. 法人・法人事務局
2. 養護老人ホーム偕生園
3. 特別養護老人ホーム愛全園
4. 愛全園在宅センター
(1)昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園
(2)居宅介護支援センター愛全園
(3)訪問介護　ヘルパーほほえみ
(4)昭島市南部地域包括支援センター愛全園
(5)昭島市西部地域包括支援センター愛全園
5. 栄養課
6. 訪問給食 ふれあい食事サービス
7. 医務課、愛全診療所

令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

法人・法人事務局

【　法　人　】

1　法人の運営体制等

（1）理事会・評議員会

1）構成

	令和４年度	
役職名	定員	現員
理事	７名	７名
評議員	８名	８名
監事	２名	２名

2）　理事会開催実績

音声・画像での適時的確な相互意思表明を可能とする Web 会議システムを介しての参加により開催した。

開 催 日　等	主　要　議　案
令和　４年　６月　１日	・令和３年度事業報告及び決算報告、監事監査報告 ・評議員会の招集決定 ・規程類の変更
令和　４年　８月２５日 （決議省略（書面））	・園庭拡充事業及び同事業用地の取得
令和　４年１０月２６日	・令和４年度第一次補正予算 ・LED 工事契約 ・規程類の変更
令和　５年　３月２９日	・令和４年度第二次補正予算 ・令和５年度事業計画 ・令和５年度当初予算 ・園庭拡充事業及び事業用地取得見合わせ ・規程類の変更 ・役員等賠償責任保険契約

３）　評議員会開催実績

感染症対策を講じたうえで対面により開催した。

開 催 日　等	主　要　議　案
令和　４年　４月１３日 （決議省略（書面））	・定款の改正 「介護人材の育成事業」の目的追加
令和　４年　６月２２日	・令和４年度事業報告及び決算報告、監事監査報告

（２）法人運営に関わる各種会議

会議・委員会名	開催日	所掌事項等
施設長会議	原則 毎月１回	経営委員会にて検討された議案に関する承認、職員の昇給、昇格、その他重要事項
経営委員会	原則 毎月１回	経営に関する案件、夏期・冬期賞与の支給、人事考課の実施、特別職の委嘱等
運営実績会議	毎月第４金曜日	・各施設からの稼働率実績報告と未達成に関する改善策および取り組み報告 ・営業活動、サービス改善活動、顧客満足度向上活動報告 ・経営委員会の報告
評議員選任・解任委員会	令和４年度未開催	

（3）法人共通事項の各種委員会

委員会名	開催日	所　掌　事　項
衛生管理委員会	毎月第３水曜日	職員の健康維持、安全管理に関する計画の策定及び課題解決の協議
防災委員会	毎月第４火曜日	各施設の防災管理に関する重要事項の協議 消防計画に定める事項に関しての確認・協議
ＩＴ委員会	必要に応じて 開催	・法人共有サーバー飽和状態によるルール確認 ・サーバー増設と Google ドライブ使用 ・Slack 運用について
職員報委員会	４.６.９.１２月 第１金曜日	法人および他職種間の情報を共有するための紙面を作成

サービス向上・リスクマネジメント委員会	毎月第１金曜日	利用者のサービスの質の向上を目的とし、リスクマネジメントに関する取り組みや事例検討等を実施
相談員事例検討	毎月第３金曜日	相談員を対象とした事例検討等を実施。事例検討を通して、相談員のケースワーク力の向上を図ることを目的とする
衛生管理委員会	毎週第３水曜日	・産業医からの最新情報伝達 ・施設長からの情報発信 ・衛生管理者からの情報発信 ・各部署から利用者、職員に関する感染症等の発生状況ならびに衛生環境維持の報告
環境整備委員会	毎週第３水曜日	・ご利用者の居室の整理整頓、衛生環境の報告 ・職場内の清掃、整理整頓、環境整備に関する取り組み報告 ・ATP ふき取り検査システムによる衛生検査結果の報告 ・クリーンスタッフや非常勤職員への教育の徹底
行事小委員会・ボランティア小委員会	必要に応じて ４回	・新しい時代の行事のあり方について ・開催方法の検討 ・ボランティア交流方法 ・ボランティアの教育と育成について
介護技術向上小委員会	年１２回	・５つ星の施設を目指した介護サービス内容の見直し ・法人共通介護マニュアル、サービスマニュアルの作成、ブランディングマニュアルの IT 化 ・介護技術向上のための学習企画 ・各現場のリーダーの連携を強固にすることで、法人内統一ケアを目指していく
給食業者選定委員会	必要に応じて	業者選定に関して、発注・受注システムの簡略化、コストの削減などを実施

※　教育研修室　　毎月第１月曜日開催　法人共通研修の企画、立案及びポイント制導入に関する仕組み作り。研修委員会との連携

２　苦情の受付・対応

第三者委員の苦情対応実績

・利用者などからの苦情の申し出による受付　　０件

３　衛生管理対策

衛生管理者の配置

衛生管理者と産業医が連携を行い、毎月各施設の代表者を介しての衛生管理委員会を行っている。

４　研修実績

月	研修内容	具体的内容・参加人員	講師
毎月	医療研修	参加人数と内容　※参加者縮小開催 ４月：９名　高齢者の便秘症について ５月：１１名　高齢者の便秘症について ６月：11名　高齢者の便秘症について ７月：５名　食事と熱中症について ８月：１０名　食事と熱中症について ９月：４名　食事と熱中症について 10 月：８名 食事と熱中症について ３月：８名　高齢者に多く使用する漢方 11 時 00 分～12 時 00 分 ※理事長不在、コロナクラスターに伴い 11 月～2 月は中止。	理事長
４月 ７月 10 月 ３月	新入職員研修	参加人数（計 30 名） ・法人理念・高齢者虐待について ・法人の食事について ・法人職員としての期待と感染症 10 時 00 分～14時３０分	理事長 特養施設長 地域支援課長 栄養課
５月 ～9 月	幹部研修 clarity consulting	10 回実施　参加人数（9 名）※リアル開催・オンラインにて ・企業プロミスの作成 ・月間プロジェクトの作成 ・パーソナルコンパスの作成	理事長 施設長 課長 事務局 法人監事

５月	主任・副主任 基礎研修	参加人員（４名） ・法人理念 ・法人職員としての期待と役割、責務 13 時 00 分～16 時 15 分	理事長 特養施設長 管理本部長
７月 11 月	相談員悉皆研修	参加人員（計 24 名）　※オンライン 業務行動プログラミングシートを活用し セルフスーパービジョンを展開 14 時 00 分～16 時 00 分	法人監事
７月 10 月	相談員悉皆研修	参加人員（計 21 名） 潜在意識を活用し、マインドを整え ることにより、よりよい支援に繋げる 14 時 00 分～16 時 00 分	特養施設長
６月	主任専門研修	参加者（８名） WEALTH DYNAMICS プロファイルを 活用し自分を理解する 13 時 30 分～16 時 30 分	特養施設長
７月	副主任専門研修	参加人員（11 名） WEALTH DYNAMICS プロファイルを活用して自分を理解する 13 時 00 分～15 時 10 分	特養施設長
８月	医療研修	参加者（全職員）※動画視聴 地域包括ケア時代 PEG 管理とケアのありかた ～急性期病院と施設の立場から考える	診療所医師
10 月	感染症研修	参加人員（全職員）※事業所別資料視聴 ・コロナウィルス関連資料 ・ノロウィルス標準対策資料 ・疥癬対応資料 アンケートと報告をもって実施完了	各事業所

10月	TALENT DYNAMICS 研修	参加人員（21名）オンライン（８１名） 相談員・リーダー職にあたる職員の 質の向上を図る 14時00分～16時00分	外部講師
10月	管理職専門研修	参加人員（4名） 役職者の資質向上を図る	特養施設長
2月	法人安全運転研修	参加人員（24名）オンライン（６５名） ・交通事故の傾向と対策 ・事故発生時の対応 ・自転車のルールと取り締まり ・警察からの情報提供 ・アーカイブ視聴により受講可 15時00分～16時00分	昭島警察署 交通課
３月	研修・研究成果 発表会	参加人員（110名）※オンライン ・コロナ禍でも他部署と交流を図る ・各事業所の取り組み、成果 ・新入職員紹介　など 19時30分～21時30分	各事業所
3月	(新)介護職員メンタルヘルス研修	参加人員（計５０名）※介護職員の希望により開催／相談員研修【動画】潜在意識を活用し、マインドを整えることにより、よりよい支援に繋げる 14時00分～16時00分	特養施設長
不定期	各事業所研修	４月（センター認知症・リハビリマシン研修、ほほえみ法令研修） ５月（ほほえみ：排泄研修　偕生園：全盲の方への対応研修） ６月（ほほえみ：コミュニケーション研修　センター：利用者のプライバシー保護の取り組みについての研修・熱中症予防研修） ７月（センター：職員研修内、ハラスメントについて、ほほえみ：熱中症、	各事業所職員

		食中毒予防について、偕生園：コミュニケーションについて） ８月（医務課：PEG の管理とケアについて） ９月（ほほえみ：感染症研修、愛全園：危険予知研修（爪切りの切り方等）） 10 月（センター：認知症研修、ほほえみ：KYT 訓練、愛全園：褥瘡研修） 11 月（偕生園：精神疾患に関する勉強会、ほほえみ：認知症研修、センター：危険予知訓練･高齢者虐待･非常災害時の対応について） 12 月（センター：感染症研修　栄養課：食中毒研修） １月（ほほえみ：認知症動画研修） ３月（包括：心のケア）	

５　防災訓練

月	月例防災計画		特 記 事 項
	訓練項目	概要・備考	
４月	基礎訓練	施設内の防災機器･設備の取扱い確認	○大規模災害時の事業継続計画（災害発生時 BCP）の策定を実施し、第一版を発行した。 ○感染症のクラスタ発生を想定した事業継続計画（新型コロナウィルス感染症発生時 BCP）の策定を開始。 ○昨年度に続き、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、炊き出し等の従前行っていた訓練の実
５月	夜間想定訓練	夜間を想定した通報･初期消火（模擬）・防災備品点検 HR リングによる安否確認	
６月	机上訓練	コロナ感染者発生時の対応確認	
７月	机上訓練	火災避難シュミレーション 施設避難経路の確認（図面）	
８月	部分訓練	屋外での放水訓練 （消火栓・水消火器利用）	

９月	中止	コロナクラスター発生	施が困難であったことから、防災委員ならびに各部署担当者による机上訓練や通報訓練を中心に実施した。 〇新型コロナウィルスによるクラスター発生が２回あった為、都度振り返りを行い、コロナ BCP を更新。また、保健所の指導により、必要な衛生用品の確認と、防護服等の脱着についても見直しを行った。
１０月	総合訓練	大規模地震を想定し、各事業所で初期動作、安否確認、エレベーター確認・建物・火災確認のうえ、防災対策本部への状況報告を実施	
１１月	部分訓練	警備員による夜間を想定した初期消火、通報、避難訓練防災備品、衛生防疫備品の確認	
12 月	参集訓練 夜間想定訓練	災害時の参集状況の確認 HR リングによる安否確認	
１月	部分訓練	各部署の備蓄備品の確認と配置場所の明確化 （写真・図面・リスト）	
２月	部分訓練	防災受信装置の操作訓練 事務局・警備員対象	
３月	部分訓練	通報・消火（模擬）・避難訓練その他	

６　地域交流等

（１）地域交流事業

行事名	実施時期	内　　容
納涼祭	中止 （通常８月）	都内の新型コロナウィルス感染状況を鑑み余儀なく中止。
愛全園福祉 フェスティバル	中止 （通常 11 月）	同上
フリーマーケット	中止 （通常５月）	同上
ボランティア交流会	中止 （通常６月）	同上

（２）喫茶・パンの販売

毎週火曜日　１１時～15 時
社会福祉法人「ゆいのもり福祉協会」利用者によるパンの販売及び喫茶

（３）ボランティア活動

令和４年度 10 月より愛全園 LINE 公式アカウントを開設したことによって、ボランティアとの迅速な情報交換・提供が可能な双方向ツールを確立。

LINE の友だち登録を誘引するため、LINE QR コードを紹介したボランティア通信３号も発行。活動内容としては、屋外での花活動、オンラインでの傾聴・朗読会・俳句会、ボランティア宅での縫い物と社協主催の夏ボラを実施した。

コロナ感染で活動中止になった期間を除いても、昨年度を上回る延べ 281 名のボランティアが活動。また、当法人での傾聴活動の「昭島傾聴ボランティアさざなみ」が、コロナ禍においての迅速なオンライン化によって活動を続けたことが評価され、東京都社会福祉大会（第 70 回）にて会長表彰を受賞し、当園にて授与式がおこなわれた。

地域連携と人材育成での体験受け入れ校（人数）実績は以下のとおり

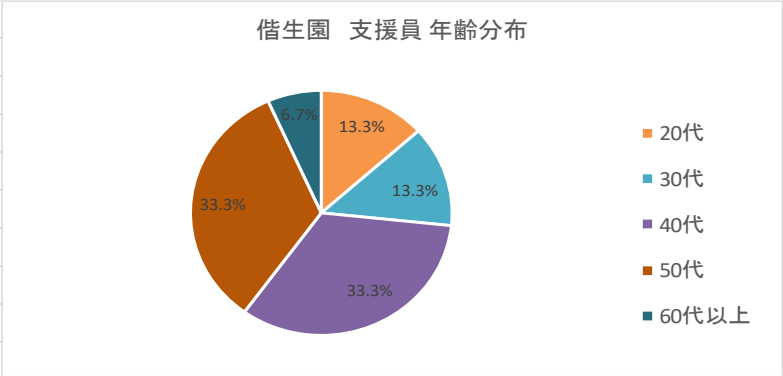
受入れ区分	令和４年度	前年(令和３年)実績
幼稚園	なし	なし
小学校	なし	なし
中学校	なし	なし
高等学校	なし	なし
大学	２名	４名
専門学校	なし	なし
社会人研修	なし	なし

７　寄付金について

令和４年度も多くの皆様よりご寄付を頂戴し、施設整備・行事費用に使用した。

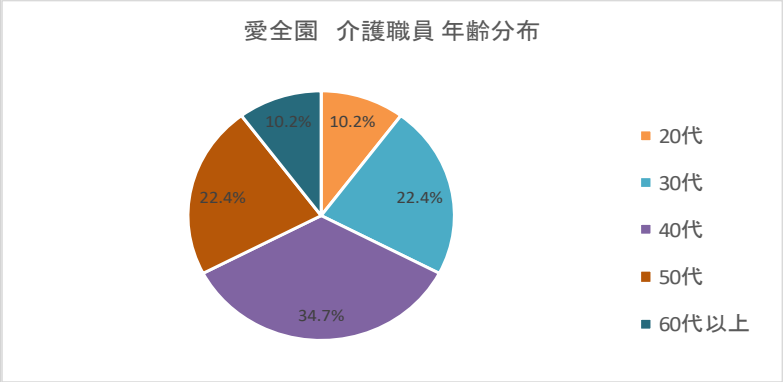
	使用金額	内寄付金充当額	使用用途
本　　部	０円	０円	
偕 生 園	０円	０円	
愛 全 園	1,383,418 円	1,206,930 円	自走式車椅子３台・モジュール車椅子２台・フラットシーツ 100 枚・テレビスタンド・介護用テーブル・液晶テレビ・ストレッチャー修理・エアーマッサージャー・翌年度繰越分あり
センター	０円	０円	
診 療 所	０円	０円	
合　　計	1,383,418 円	1,206,930 円	

８　介護職員・支援員　人員分布について（令和５年３月 31 日現在）



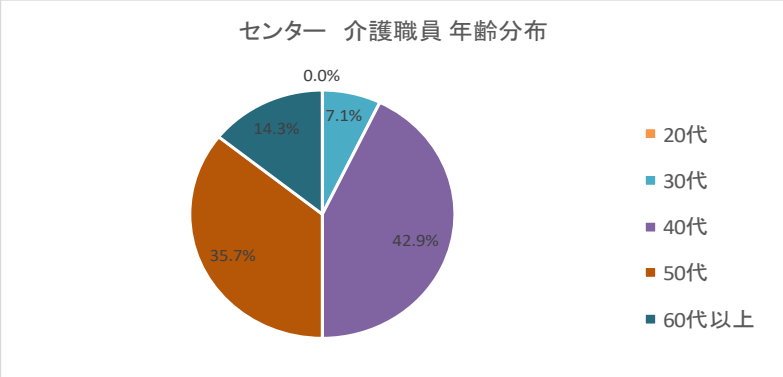
偕生園　支援員

	（人）	分布
20代	2	13.3%
30代	2	13.3%
40代	5	33.3%
50代	5	33.3%
60代以上	1	6.7%
合計	15	100.0%
	男性	女性
	33.3%	66.7%



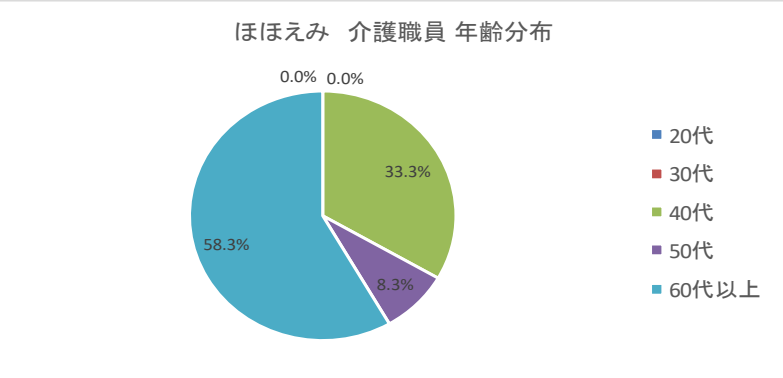
愛全園　介護職員

	（人）	分布
20代	5	10.2%
30代	11	22.4%
40代	17	34.7%
50代	11	22.4%
60代以上	5	10.2%
合計	49	100.0%
	男性	女性
	46.9%	53.1%



センター　介護職員

	（人）	分布
20代	0	0.0%
30代	1	7.1%
40代	6	42.9%
50代	5	35.7%
60代以上	2	14.3%
合計	14	100.0%
	男性	女性
	28.6%	71.4%



ほほえみ　介護職員

	（人）	分布
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	4	33.3%
50代	1	8.3%
60代以上	7	58.3%
合計	12	100.0%
	男性	女性
	8.3%	91.7%

９　IT システムの導入について

人事管理システム「SmartHR」を導入し人事情報の一元管理を図った。

また、人事評価機能を導入し、従来専用紙で行っていた人事考課を SmartHR へ移行し、令和４年度の人事考課は SmartHR で行った。

これにより、各従業員が PC や自分のスマートフォンからの入力が可能となり、作業効率向上が図られた。

【導入スケジュール】

月	項目	概要
７月	従業員データ 人事評価機能	現行システムから情報をダウンロードし SmartHR 用に加工し取込作業を行う。 各職種や業務に応じた様式を作成した。
８月	従業員データ 人事評価機能	法人アカウント等、現行システムに無い情報を補完し、従業員情報を登録する。 全従業員に通知し、自分の情報確認を依頼した。 各様式を SmartHR に登録。
９月	人事評価機能	権限設定などを確認しテストを行う。 全従業員に評価システムの変更を周知した。
10 月	なし	なし
11 月	なし	なし
12 月	人事評価機能	自己評価入力
１月	人事評価機能	自己評価・１次評価入力
２月	人事評価機能	１次評価・２次評価入力
３月	人事評価機能	最終評価入力

１０　介護人材の育成と人材確保について

【介護人材育成】

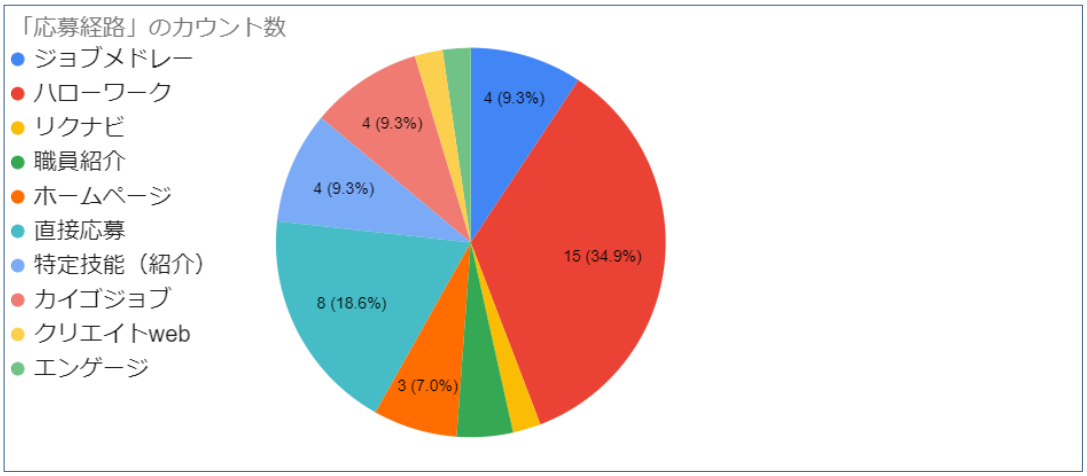
令和４年度より、東京都介護職員初任者研修を法人主催で開校し、法人職員５名と一般応募１名の計６名が参加。介護の知識とスキルを基礎から学び、職場でのフォローアップを経て全員が資格取得できた。

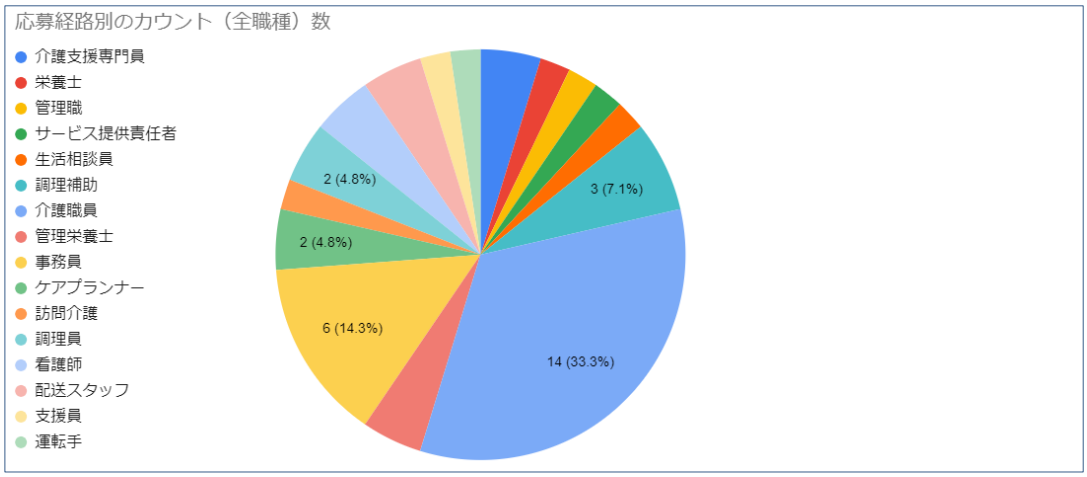
【介護人材確保と ICT 化】

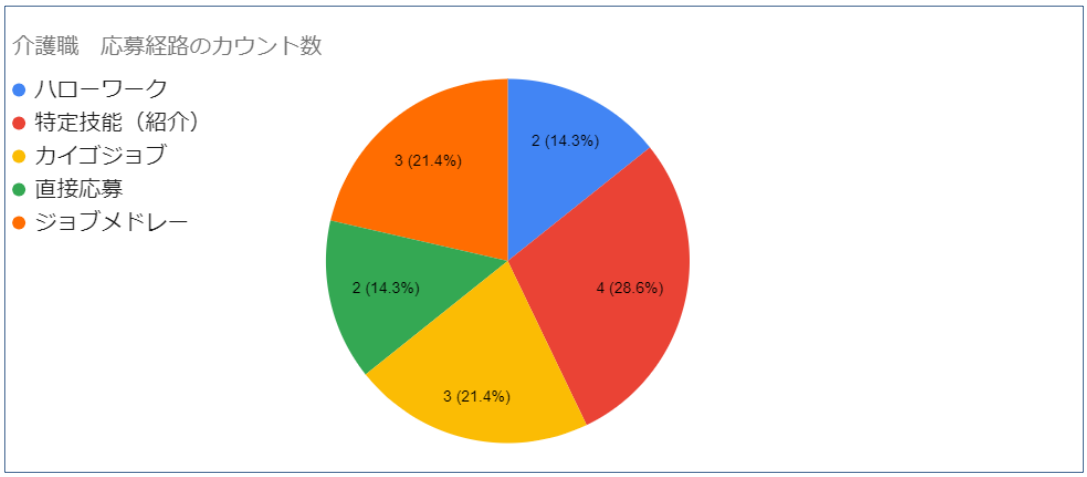
情報を素早く共有・連携させ、仕事の効率と質を向上させるために導入した Google WorkSpace や Slack 機能が浸透してきたことで、情報・データ・スケジュールの共有、面会室等の予約管理、社員アンケート、職員弁当予約等々迅速に情報共有ができるシステムが確立された。

また、HRring のパルス機能により、職員の心身コンディションを把握し迅速なサポートも可能となっている。

採用広告戦略としては、LINE 公式アカウントを開設したことで、新着情報をタイムリーに発信すると共に、求職活動に効果的なコンテンツを提供し、ホームページ＋YouTube 動画＋アメブロ＋Google 広告と連動して、エントリーしやすい環境を整備している。







令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

養護老人ホーム偕生園

1.偕生園の概要

（1）利用者の概要

①各月１日現在の利用者数（3 年比較）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均稼働率
R2 年度	138	139	138	137	138	139	140	137	134	134	133	130	1637	97.4
R3 年度	131	132	136	141	141	141	142	142	142	140	141	140	1669	99.3
R4 年度	140	140	142	144	142	142	140	140	140	140	139	140	1689	100.6

②入退所状況（3 年比較）

入所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2 年度	2	1	0	2	1	1	1	0	1	1	1	3	14
R3 年度	2	4	6	0	4	1	3	2	3	4	1	2	32
R4 年度	3	3	3	0	2	2	3	3	2	0	1	3	25
退所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2 年度	1	1	2	0	0	1	3	3	1	2	4	2	20
R3 年度	1	1	0	1	3	1	3	0	6	3	3	1	23
R4 年度	3	1	0	0	2	2	3	2	2	1	1	1	18

③入退所理由（3 年比較）

入所前の場所	在宅	施設	病院	特養老健	有料	シェルタ	計	退所理由	死亡	長期入院	特養老健有料	措置替え	在宅復帰	計
R2 年度	５	３	３	２	０	１	14	R2 年度	13	４	２	１	０	20
R3 年度	14	9	4	1	2	2	32	R3 年度	15	3	0	1	4	23
R4 年度	14	7	1	2	0	1	25	R4 年度	15	2	0	0	1	18

※　高齢独居を理由にアパートの契約更新を断られるケースや、施設・病院からの家族受入れ拒否、虐待ケースが目立つ。背景として認知症、精神障害、軽度知的障害を抱えられている方が多い。

※　退所の理由としては、死亡の方が 15 名（12 名は園内で看取り）。長期入院は 1 名特養へ入所。在宅復帰が１１名（自宅）。

④入所期間

平均入所期間 6.5 年（男性平均 6.3 年、女性平均 6.6 年）

	１年未満	１～４	５～９	10～14	15～19	20～	計
男性	8	20	12	10	11	0	61
女性	10	29	15	15	8	3	80
計	18	49	27	25	19	3	141

令和 5 年 3 月 31 日現在

⑤措置機関の状況（３年比較）

23 区	足立	荒川	板橋	大田	葛飾	北	江東	品川	渋谷	新宿	杉並	墨田	世田谷	台東	千代田	豊島	中野	練馬	文京	港	目黒
R2 年度	2	1	1	8	11	5	1	3	4	26	7	2	1	6	4	10	5	1	2	2	12
R3 年度	1	1	1	7	14	4	1	3	4	22	6	2	1	7	5	11	10	2	0	3	13
R4 年度	1	1	0	3	15	4	3	3	3	22	6	1	1	7	5	10	14	2	0	3	11

市町村	昭島	小平	立川	調布	西東京	東大和	三鷹	小笠原	三宅村	武蔵村山	東久留米
R2 年度	3	1	5	1	1	2	1	1	1	1	0
R3 年度	2	1	5	0	1	2	1	1	2	2	0
R4 年度	6	1	4	0	0	3	1	2	2	6	1

※　全体では、都内１９区７市２村から措置を受けている。

R４年度の入所は、武蔵村山・中野４、新宿・昭島２、東大和・江東・品川・東久留米・葛飾・小笠原１であった。

※　R４年度は９月、１月とクラスターが発生し、新規入所取止めが４件あった。

⑥利用者年齢構成

最年少 61 歳 8 か月、　最高齢 96 歳 8 か月

	～65 歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	3	9	16	20	10	2	1	0	61
女性	1	2	9	15	21	15	13	4	0	80
計	1	5	18	31	41	25	15	5	0	141

令和 5 年 3 月 31 日現在

⑦平均年齢　（３年比較）

	男性	女性	全体
R2 年度	79.7 歳	82.9 歳	81.5 歳
R3 年度	79.4 歳	82.8 歳	81.3 歳
R4 年度	79.0 歳	82.0 歳	80.0 歳

⑧入退院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入院者（延人数）	8	8	8	8	9	9	10	10	8	7	6	8	99
退院者（延人数）	1	3	2	2	0	2	1	2	3	1	1	2	20

入院期間	1～30	31～60	61～90	90 以上	計
(1) 入院者実数	10	2	1	11	24
(2) (1)のうち死亡、または除籍者数	3	0	1	2	6

※入院者数は昨年度 68 名から 99 名に増加。昨年度から継続入院が 5 名あった。

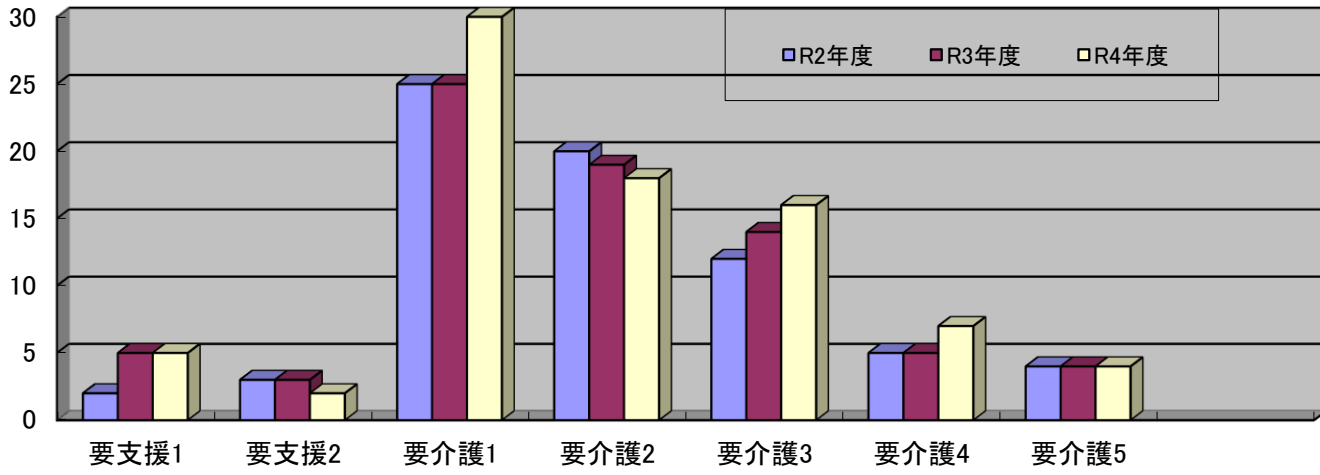
⑨介護保険認定者

	要支援１	要支援２	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
男性	3	2	8	3	6	2	1	25
女性	2	1	22	15	10	5	3	58

※要介護・要支援認定がついている方の割合が全体の 59.2%であった。

≪介護度の付く方、3 年間の推移≫

	要支援１	要支援２	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
R2 年度	2	3	25	20	12	5	4	71
R3 年度	5	3	25	19	14	5	4	75
R4 年度	5	2	30	18	16	7	4	82



※　介護度割合に大きな変化は無いが、介護保険認定者数は毎年増加傾向にある。

⑩ 利用している介護保険サービス内容　　（令和５年３月期 利用人数）

外部サービス	訪問介護	福祉用具貸与	訪問リハビリ	通所介護	訪問薬剤指導	訪問入浴
利用人数（複数含）	59	52	23	21	0	2
事業所数	4	5	3	3	0	1

※通所介護からのコロナ感染が続いたため利用を半減（前年 56 名）し訪問サービスに移行した。

介助種類	食事	排泄	着替え	爪切り	入浴	寝返り	移動
一部介助	47	27	22	10	49	0	9
全介助	3	12	6	49	9	3	10

車椅子使用者	認知症高齢者	紙パン・パット等　使用	除圧マット使用
22	69	48	79

⑪面会・外泊状況

≪面会月別状況≫（３年比較）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R2 年度	0	0	0	3	7	14	10	9	10	6	2	3	64
R3 年度	5	7	1	1	2	5	13	9	5	5	1	2	56
R4 年度	3	3	7	7	3	0	6	11	11	6	1	7	65

※コロナウィルス感染予防のため陰圧室での面会としている

≪面会者の続柄の内訳≫　（３年比較）

	配偶者	子ども	兄弟姉妹	甥姪孫	友人・知人	保佐人他	合計
R2 年度	0	33	3	12	0	16	64
R3 年度	0	21	2	5	0	28	56
R4 年度	3	21	5	2	2	23	56

※コロナウィルス感染予防のため感染拡大時の面会を制限している。

≪利用者別面会頻度≫（3 年比較）

回数	1 回	2-4 回	5-9 回	10-19 回	20－50 回	50-100 回	合計
R2 年度	7 人	8 人	3 人	0 人	0 人	0 人	18 人
R3 年度	22 人	6 人	1 人	1 人	0 人	0 人	30 人
R4 年度	26 人	10 人	1 人	0 人	0 人	0 人	37 人

≪外泊状況≫

外泊日数	1 泊 2 日	2 泊 3 日	3 泊 4 日	4 泊 5 日	合計
人数	0	1	0	0	1

※コロナウィルス感染予防のため外泊を原則禁止している。

(2) 健康管理

実施月	内　　容
4 月	3 月に園内でコロナ感染症の方が 1 名出て、回復をされていることを報告。感染症対策に協力を求めた。
5 月	近隣施設ではコロナ感染症が流行していることを報告。ワクチン予防接種を今後実施することを説明、感染症予防ご協力を引き続き依頼する。
6 月	外出制限の緩和を伝え、外出先での感染予防について説明した。喫煙者の方へ喫煙所マナーについて再度お願いをした。
7 月	コロナワクチン接種 4 回目を 7 月 8 日に実施することを説明した。また脱水や熱中症にも気を付けるようにお話しした。
8 月	コロナ感染症が園外では大流行しており、病院への入院や受診がすぐできないことを話し、各自しっかり感染予防に努めて頂きたいと説明した。
9 月	コロナ感染症が流行っていることを引き続き説明した。また、健康診断を全利用者対象に実施することを説明した。(9 月には実施できず延期)
10 月	※コロナ感染症クラスター発生につき、茶話会を中止したため、感染予防や園内でもできる運動等のお知らせを作成し、配布した。
11 月	コロナ感染症のクラスターを乗り越え、日常に戻るためにご協力を頂いたことにお礼を伝えた。延期している健康診断は 1 月に実施することを報告。コロナワクチン接種 5 回目を 11 月 9 日に実施することを説明した。
12 月	コロナ感染症が大流行して医療ひっ迫していることを話し、外出の制限を説明した。感染予防に努め不要不急の外出はしないようにお願いした。
1 月	健康診断を実施することを説明（1 月 10 日)。インフルエンザ感染症にも気をつけ、より一層の感染予防対策の協力を依頼した。
2 月	コロナ感染症が当園で流行しているため、放送にて茶話会を実施、感染予防対策のご協力にお礼を伝えた。また、感染予防について感染者数の状況等をお知らせする広報を随時配布した。
3 月	コロナ感染症の終息のお知らせとともに外出制限を緩和、2 度のコロナ感染症クラスターを経験した当園は、コロナとともに生きていく時代になっていることを説明した。マスクのルールが世間では変更になるが、当園は老人ホームであるため、感染リスクの高い方が入所していることから、マスクの使用を引き続きお願いすることを伝えた。

≪訪問歯科医による歯の健康診断≫（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R4 年度	13	8	14	4	0	0	0	2	1	0	0	0	42

≪訪問歯科医による歯の訪問診療≫（延人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R4 年度	19	17	17	18	13	0	27	22	19	9	5	26	192

（3）相談員による生活相談

＜相談面接件数＞（令和５年３月期　面接人数）

内容	利用者間トラブル	金銭	医療・健康	家族関連	後見人関係	飲酒	タバコ	無断外出泊	その他	合計
件数	20	125	101	79	158	16	19	3	30	551

≪AA（アルコホーリスク・アノニマス）の開催≫

※コロナウィルス感染予防のため中止している。

＜交通安全教室の開催＞

昭島警察署の協力を得て、３月開催予定であったがクラスターにより中止。

（4）介護予防支援状況（生きがい活動）

①クラブ・同好会

クラブ名	活動内容	講師ボランティア	参加延べ人数	開催回数
カラオケ	感染予防のため、参加者数を 10 名以下（2 グループ）としクラスター時以外毎週金曜日の開催。換気・マスク・マイクの消毒を徹底して開催した。	なし	327 （478）	28 （34）
遊ぼう会	感染予防のため、参加者数を 10 名以下としクラスター時以外毎週月曜日の開催が出来た。換気・マスク・消毒を徹底して開催した。	なし	274 （364）	27 （37）
ものづくり	手芸クラブをものづくりクラブへ変更し、月１回の開催が定着した。	なし	28 （31）	9 （9）
ゲートボール	クラスター時には開催せず。	なし	16 （59）	2 （5）
園芸	料理クラブへ収穫した野菜を提供。		51 （155）	6 （15）
料理	感染予防のため、参加者数を 10 名以下とし、換気・マスク・手袋、調理道具の消毒を徹底して開催した。		35 （109）	3 （8）
折紙	クラスター時には開催せず。	なし	17 （98）	3 （15）
なでしこ	美容をテーマとするなでしこクラブに変更し、開催した。	なし	80 （10）	6 （1）
奉仕	園内外清掃を毎日実施、また芝生広場の芝刈りを定期的に実施した。		1491 （2123）	328 （333）

紙細工	感染予防のため、参加者数を 10 名以下としクラスター時以外は毎月開催。	なし	53 (60)	8 (10)
お花の会	クラスター時以外は毎月開催。	なし	156 (225)	8 (11)
かすみ草	クラスター時以外は季節の行事の飾りを作成した。		19 (13)	8 (11)
ボランティア床屋	クラスター時以外は毎月、聚楽会役員が会場設営、人数調整、呼出し等を行った。	DIC	16 (24)	8 (11)
歩こう会	クラスター時以外は感染予防の上、食堂にて椅子に座っての介護予防体操と廊下をウォーキングし筋力低下予防に取り組む。		1364 (2224)	68 (108)
フィットネス	クラスター時以外、月 2 回開催。		81 (133)	10 (15)

※9 月と 1 月にコロナ感染症クラスターが発生し、クラブ活動を合わせて 2 カ月間休止した。

※（　）は令和 3 年度

同好会名	活動内容	講師・ボラ	参加延べ人数	開催回数
映画	食堂にて感染予防の上、スピーカーにプロジェクターを接続しスクリーンに映して映画館の雰囲気を楽しんで頂いた。		871 (866)	22 (28)
健康麻雀	換気・マスク・消毒の上、頭の体操や健康を目的に麻雀を楽しんでいる。		68 (105)	17 (34)
囲碁	囲碁を趣味とする方をお誘いし、毎週開催。		321 (40)	78 (7)
買い物	週 2 回の移動スーパーを利用して、単独で買い物に行けないご利用者の楽しみの機会を作ることに努めた。		1407 (1519)	78 (81)

※囲碁については新たなメンバーが加わり、男性利用者の交流の場となっている。

※（　）は令和３年度

≪個人別　参加回数≫　　（令和 4 年度 延べ利用人数）

	0	1～10	11～40	41～70	71～100	100～	計
男性	3（3）	20 (27)	22 (25)	13（7）	7（5）	5（5）	70
女性	7（2）	16 (13)	33 (27)	21 (22)	8（9）	7（18）	92

※９３．８%の方が参加され、３７．６%の方は毎週クラブ又は同好会に参加。

※（　）は令和３年度

②季節行事

開催日	行事名	行事内容	参加延べ人数
4月2日 5日 6日 7日 9日 10日	観桜会・ 食事会 お花見散歩	雨天時や花粉症の為外出がつらいとの利用者の声があり、食事会は4月4日食堂で開催する。お昼に窓から桜を眺め、お花見気分を楽しまれた。 食事会とは別で、外出して裏庭の桜を見に行く会を複数回実施する。外出困難者の方を主に対象とした。久々の外出を皆さん満喫されていた。	124名 25名（1） 7名（2） 7名（3） 6名（4） 9名（5） 9名（6）
4月～5月	端午の節句	ご利用者主体で中庭に鯉のぼり、食堂内にカブト・小さな鯉のぼり、食堂前に五月人形を飾り、菖蒲湯を楽しんだ。	
4月25日 26日 28日 5月3日 4日 5日	春の散歩 （外出支援）	外出困難者の方を主に対象として、拝島公園へ散歩に行く。公園の藤棚を鑑賞したり、職員が用意した巨大シャボン玉を体験したりと、皆さん大いに楽しまれていた。	11名（1） 6名（2） 6名（3） 19名（4） 18名（5） 8名（6）
6月3日 ～ 7月8日	七夕飾り	日々作成した折り紙や短冊を飾った七夕の笹を食堂出口、法人玄関に設置した。今年は本物の竹を手に入れたので、そちらは法人玄関に、プラスチック製で組立式の竹は食堂出口に用意した。	飾り作り 59名
7月13日 7月16日	盆迎え火 送り火	偕生園に在籍した物故者に対し、自治会が主体となって御霊をお迎え、お送りするひと時を過した。コロナ感染症予防の為、食堂で焼香を焚いて実施した。	迎え火52名 送り火42名
6月30日 12月9日	お楽しみ 出前の会	園内で開催出来る催しとして、6月天丼の会、12月マック（マクドナルド）の会を開く。出前を注文し、利用者に召し上がっていただく。	天丼:14名 マック：7名
8月10日	偕生園 夏祭り	偕生園で独自に夏祭りを開催する。偕生園各所に昭和の屋台風の飾り付けをし、昼食にはお祭りメニューを提供した。午後にはゲームコーナーを用意した。久々のお祭りに、皆さん大いに楽しまれていた。	昼食：130名 ゲーム:86名
9月19日	長寿祭	コロナクラスター発生により、従来どおりの式典は中止し、館内放送で喜寿、米寿、最高齢者方へ職員からメッセージを伝える方式とした。 昼食はお祝い膳を提供し、居室にて食べて頂く。皆さん特別メニューを食べられてとても喜ばれていた。	式典：18名 昼食：130名
11月16日	ミニ文化祭作品展示・販売会	今年度も法人全体文化祭が中止となった事を鑑み、偕生園のみで文化祭を開催する。ご利用者の日頃の成果を発表する作品展示と販売を行った。皆さん展示された作品を楽しみながら購入されていた。	8名

11 月 30 日	敬老祝い 特別食	コロナ禍で今年も年間行事の中止が相次いでいる為、敬老祝いとしての特別食の提供を再び行う。皆さん特別食を食べ、普段と異なる雰囲気を楽しまれていた。	120 名
12 月 24 日	クリスマス会	コロナ感染症予防の為、規模を縮小して実施する。飾り付けは電飾を使用するなど、去年よりも豪華なものとした。昼食にケーキを用意し、特別なクリスマス気分を楽しんでいただいた。午後は食堂で映画を上映し、楽しんでいただいた。	125 名
1 月 1 日	正月式典	新年の飾りつけを行い、元旦に式典を開催した。今年も園内に神社と絵馬掛所を設置した。ひまわり、ばら、すみれフロアの 2 回に分けて行い、例年より簡素化して開催した。	94 名
1 月 6 日	書き初め	コロナ禍で今年も年間行事の中止が相次いでいる為、園内で皆さんが楽しめる行事の一環として書き初めを行う。皆さんで思い思いに好みの文字を書いて楽しまれていた。	6 名
2 月 8 日 ～ 3 月 3 日	ひな祭り	各フロアにひな人形を飾る。皆さんできれいな飾りつけを見て楽しまれていた。	133 名
2 月 23 日	節分	お菓子を配り、豆まきを行う。各フロアの利用者の居室を職員が扮した鬼が回り、参加者全員で豆まきをしてお菓子を食べた。皆さん楽しそうに豆まきをされた。	130 名
3 月 22 日	64 回 開園記念日	昼食でお寿司を味わいながら食べられていた。コロナ感染症予防の為、例年の午後のコンサートは中止とした。代わりに午後は食堂で映画を上映し、楽しんでいただいた。	133 名
3 月 31 日	観桜会・お花見散歩	参加者は自力での外出が困難な方を中心としてお花見を実施する。久々の外出とあって、大いに花見を楽しまれていた。	14 名

③ボランティアによる演奏会、催し

ボランティア団体名	内容	参加者
啓明学園聖歌隊	聖歌隊の皆様より、演奏会 DVD のプレゼントをいただく。お茶会で DVD を流し、ハンドベルの演奏を味わった。	16 名

※コロナ禍の為、ボランティアによる演奏会は、毎年依頼している団体も含めて上記以外は全て中止とした。

≪その他≫

法要	コロナ感染症予防の為、7・9・3 月いずれも中止とした。	

４．職員の概要

（１）職員配置状況

令和５年３月31日現在

職　種	法定数		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
施設長	1	常	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
課長		常	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
主任相談員	2	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
相談員	3	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		非	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
計			5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16
主任支援員	1	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
支援員	9～	常	11	11	11	11	11	11	10	10	10	9	9	9
支援員補助		非	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員補助		非	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	04.5	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
計			14.45	14.45	14.45	14.45	14.45	14.45	13.45	13.45	13.45	12.45	12.45	12.45
クリーンスタッフ（清掃・洗濯）	・	非	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87
		非	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		非	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
		非	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		非	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.37	0.37	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0	0	0	0	0
計			2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
医師		非	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
計			0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
看護師	2	常	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
		非	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77
		非	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
計			2.07	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37
理学療法士		非	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
計			0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
事務員	1～	常	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		非	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
計			4.4	4.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
栄養士	1	常	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理師	４～	常	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4
		非	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

		非	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
		非	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
調理師	4～	非	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		非	0.42	0.42	0	0	0	0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
		非	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		非	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		非	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0	0
		非	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
		非	0	0	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
計			8.98	8.98	9.46	8.96	8.96	8.96	10.23	10.03	10.03	9.03	9.03	9.03

（２）定例会議

会議名（開催日）	内　　容
職員会議 （毎月第 2 金曜日）	月 1 回開催。各モニター・委員会・クラブ担当・行事担当及び相談員から業務改善に関する項目を事前準備し参加することで、効率的且つ効果的な協議の場となった。
相談員会議 （毎月第 1，3 木曜日）	月 2 回開催で、半月単位のスケジュール確認、特に情報共有の必要なご利用者の状況共有、入退所の進捗確認、研修、行事の確認を行っている。
ケース会議 （第 2、第 4 木曜日）	業務執行理事に指導をいただき、支援員・相談員・看護師・栄養士が参加し、個別支援計画について検討した。1 回につき 5～6 ケースを検討。
ＮＳＴ会議 （ケース会議にて）	ケース会議にて実施。偕生園ご利用者の栄養状態に着目し、栄養士が主体となって低栄養、体重低下があるご利用者への対応を検討した。
朝タミーティング	朝 9 時 10 分、夕 17 時に実施。日勤又は夜勤リーダーからの申送り、看護師・栄養士・相談員からの伝達及びスケジュール確認を行っている。

（３）委員会

委員会名（開催日）	回数	内　　容
リスクマネジメント委員会	4 回	6 月、9 月、12 月、3 月に実施。3 か月間の事故報告の再発防止策を確認した。
身体拘束廃止委員会	4 回	リスクマネジメント委員会の中で実施。9 月、3 月は身体拘束研修の実施。
感染予防委員会	4 回	リスクマネジメント委員会の中で実施。6 月、12 月は感染症対策研修の実施。

（４）研修

令和４年度　内部、外部研修実施報告

NO	研修名	実施日	場所	職員
1	新入職職員研修	4 月 18 日	面会室	1 名
2	視覚障害者研修	5/10～17	偕生園	22 名
3	clarity consulting　本部	5 月 6 日	センター２F	1 名
4	リーダー職基礎研修	5 月 16 日	面会室	2 名
5	clarity consulting	5 月 8 日	面会室	2 名
6	clarity consulting	5 月 8 日	面会室	2 名
7	clarity consulting	6 月 8 日	面会室	1 名
8	相談員悉皆研修：前期①	6 月 17 日	ｗｅｂ	3 名
9	clarity consulting	6 月 21 日	面会室	1 名
10	感染症研修：新型コロナ BCP について	6/23~7/15	動画視聴	19 名
11	相談員悉皆研修：前期②	6 月 24 日	センター２F	2 名
12	clarity consulting	7 月 6 日	面会室	1 名
13	主任以上専門研修	7 月 21 日	面会室	1 名
14	clarity consulting	7 月 26 日	面会室	1 名
15	相談員悉皆研修：コーチング①	7 月 7 日	センター２F	2 名
16	コミュニケーション研修	7 月 8 日	偕生園	22 名
17	相談員医療研修	7 月 12 日	面会室	6 名

18	clarity consulting	8 月 8 日	面会室	2 名
19	視覚障害者研修	8/10～8/30	偕生園	15 名
20	医療研修	8/16～8/31	動画視聴	19 名
21	clarity consulting	8 月 29 日	ｗｅｂ	1 名
22	clarity consulting	9 月 12 日	ｗｅｂ	1 名
23	clarity consulting	9 月 27 日	ｗｅｂ	1 名
24	相談員悉皆研修：コーチング②	10 月 25 日	センター２Ｆ	3 名
25	TALENT DYNAMICS 研修	10 月 21 日	ｗｅｂ	3 名
26	新入職職員研修	10 月 24 日	面会室	1 名
27	管理職研修	10 月 25 日	面会室	1 名
28	感染症研修	１０月中	ｗｅｂ	20 名
29	高齢者虐待防止：虐待の目チェックリスト	10/14～10/31	アンケート	21 名
30	相談員悉皆研修：後期①	10 月 25 日	ｗｅｂ	2 名
31	感染症研修	12 月 9 日	偕生園	10 名
32	社会福祉施設長講習会	12/14～12/18	社協	1 名
33	安全運転研修	2 月 28 日	ｗｅｂ	8 名
34	歯科研修	3 月 15 日	偕生園	19 名
35	年度末成果発表会	3 月 24 日	ｗｅｂ	21 名
36	相談員医療研修	3 月 28 日	ｗｅｂ	5 名

（５）実習生の受け入れ

①職場体験

※感染予防のため令和４年度は実施していない。

②福祉体験学習

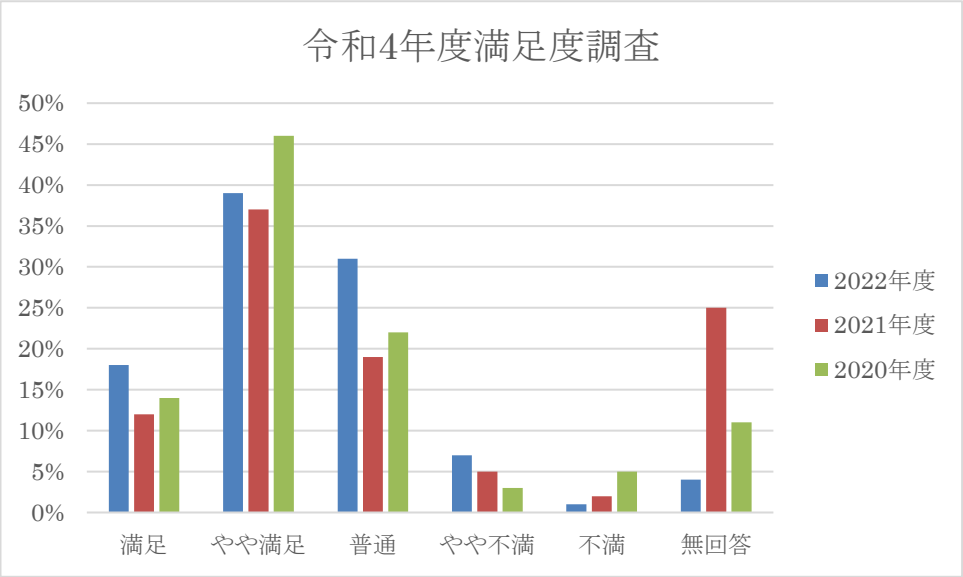
※感染予防のため令和４年度は実施していない。

（６）福祉サービス第三者評価結果

令和４年度は、本調査（事業評価及び利用者調査）を実施した。
評価機関　：一般社団法人　サスティナブル

利用者調査実施日	：令和 4 年 12 月 1 日
利用者調査結果報告日	：令和 5 年 2 月 6 日
利用者総数 140 名中	：調査対象者数 140 名 ／ 有効回答者数 119 名
調査方法	：アンケート自己記入 65 名 ／ 聞き取り調査 54 名

※聞き取りについてはＺｏｏｍを利用した
※結果については福祉ナビゲーション参照



令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

特別養護老人ホーム愛全園

令和４年度　事業実績報告

1. 特別養護老人ホーム　愛全園

（1）入所状況（稼働状況）３年間の推移

区分	定員数	入所者数	稼働率
令和０２年度	39,353	107.91	96.26%
令和０３年度	39,436	108.04	96.47%
令和０４年度	39,382	107.90	96.34%

＊平成３０年８月より定数変更（１１０床　→　１１２床）

令和４年度（令和４年４月１日　～　令和５年３月31日）

月	入所者数	稼働率	新入所者
４月	3,230	96.13%	4
５月	3,374	97.18%	4
６月	3,287	97.83%	4
７月	3,372	97.12%	3
８月	3,443	99.16%	3
９月	3,312	98.57%	1
10月	3,310	95.33%	4
11月	3,266	97.20%	3
12月	3,393	97.72%	2
１月	3,353	96.57%	1
２月	2,840	90.56%	2
３月	3,198	92.11%	1
平均	3,282	96.34%	(合計)32

令和４年度の年平均在籍利用者数は107.90名（稼働率96.34%）であり、目標の98%に達していない。

令和３年度は退所者28名、入所者34名であったのに対し、令和４年度は退所者41名、入所者32名であった。

（2）①月別退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均稼働率
R02年度	2	1	2	1	2	1	3	1	1	2	1	1	18	96.26
R03年度	2	2	3	5	1	1	5	1	5	0	1	2	28	96.47
R04年度	3	6	4	0	1	6	2	3	3	3	9	1	41	96.34

退所者41名中、永眠者は40名（施設内38名・病院2名）で入院による退所は1名であった。

②看取りの実施数（令和４年度　　20 名）

昭島市	14
渋谷区	0
世田谷区	4
国立市	1
大田区	0
飯能市	1
計	20

永眠者 40 名の内、施設内での看取りは 38 名となり、施設での看取り率は 95%であった。

看取り加算を算定は 20 名となり取得率 51.3%となっている。

（３）入院者の状況

入院者数	7
入院延日数	295

昨年度は 94 日の入院延日数であったが、令和４年度は 295 日であった。

前年度と比べ、入院述日数が増加している。

（４）入所者の状況

①　入所者年齢　令和５年３月 31 日現在

区分	入所者数	最高齢	最若	平均
男性	31 名	96	64	81
女性	78 名	106	70	88
計	109 名			86

最高齢者は 106 歳。100 歳以上は７名で、すべて女性。

②　平均入所期間　　３月 31 日における平均入所期間（ヶ月）

	Ｒ２年	Ｒ３年	Ｒ４年
区分	入所期間	入所期間	入所期間
男性	46.2	44.1	38.4
女性	38.4	45.6	45.6
計	40.4	45.2	43.5

年明けからのクラスターの影響もあり２月に退所者が多く平均入所期間が前年度に比べ減少している。

今年度の入所後１ヶ月以内での退所者（死亡退所）は１名。入所期間が 20 年以上の方は１名。

③　介護度別人数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
要介護 1	0	1	1
要介護 2	0	1	1
要介護 3	5	14	19
要介護 4	11	30	41
要介護 5	15	32	47
合計	31	78	109

平均介護度

男性	4.3
女性	4.2
全体	4.2

令和 4 年度末において要介護 4、要介護 5 の利用者の割合は 80.7%となっている。

④　日常生活動作（ＡＤＬ）の状況（**令和 5 年 3 月 31 日現在**）

ア　食事形態

普通食	17 人
一口大	9 人
含浸食	47 人
手作り流動	10 人
流動食	4 人
その他	22 人

食事介助別

自立	68 人
部分自立	5 人
全介助	36 人

イ　入浴形態

ボード浴	3 人
一般浴	10 人
チェア浴	40 人
機械浴	56 人

入浴介助別

自立	0 人
部分自立	47 人
全介助	62 人

ウ　排泄状況

自立	6 人
部分介助	47 人
全介助	56 人

入浴については、利用者の機能に適した入浴形態となるように、小まめなアセスメントを実施することで、安全に気持ちよく入浴して頂いた。

食事については、個々人の好きなものを、可能な限り自家厨房からお出しできるように工夫し、特に看取りの方については愛全食を意識して提供した。

排泄では個別排泄プログラムを更に徹底するプロジェクトを進め、パットの業者（テーナ）との連携により、ほとんどの方について、オムツから綿肌着＋パットに変更することで人権を守った排泄ケアを実現している。

２　短期入所生活介護　愛全園

（１）利用状況

月	R2 年度	稼働率	R3 年度	稼働率	R4 年度	稼働率
４月	351	58.5%	300	50.0%	435	72.50%
５月	267	43.06%	336	54.1%	391	63.06%
６月	212	35.33%	296	49.33%	350	58.33%
７月	114	18.39%	294	47.42%	494	79.68%
８月	93	15.0%	313	50.48%	552	89.03%
９月	118	19.67%	230	38.33%	528	88.00%
10 月	110	17.74%	289	46.61%	593	95.65%
11 月	120	20.0%	329	54.83%	567	94.50%
12 月	195	31.45%	354	57.10%	580	93.55%
１月	265	42.74%	382	61.61%	315	50.81%
２月	229	40.89%	378	67.50%	127	22.68%
３月	349	56.29%	445	71.77%	355	57.26%
合計	2,423	33.19%	3,946	54.05%	5,287	72.42%

＊平成３０年８月より定数変更（２２床　→　２０床）

（２）新規利用者状況（R4 年度）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規人員	4	5	4	6	3	13
新規延べ	23	22	31	9	15	43
ﾘﾋﾟｰﾀｰ延べ	412	369	319	485	537	485
延べ人員計	435	391	350	494	552	528
新規利用率	5.3%	5.6%	8.9%	1.8%	2.7%	8.1%
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規人員	5	4	1	0	0	7
新規延べ	13	13	3	0	0	21
ﾘﾋﾟｰﾀｰ延べ	580	554	577	315	127	334
延べ人員計	593	567	580	315	127	355
新規利用率	2.2%	2.3%	0.5%	0.0%	0.0%	5.9%

7 月より、相談員が実績報告書と案内パンフを居宅事業所に直接届けることで、ケアマネの困りごとを確認したことで、コミュニケーションが取れ、利用率に繋がるケースが増えた。また、市内だけでなく近隣他地域の居宅事業所にもパンフの郵送を行うことで、新たな事業所からの問い合わせがあった。包括支援センターからの虐待等に伴う緊急ショートについて、積極的に受け入れを行った。

会議日	稼働率（%）	会議内容
4 月 8 日	72.5%	人力車イベント実施。チラシの配布が行き届いていなかった。チラシ、ホームページ、ユーチューブなどの配信努力が必要。
5 月 13 日	63.0%	相談員にて送迎も可能になったため、日曜日の帰宅も可能になる。
6 月 10 日	58.33%	サービスセンター利用者であるショートステイリピーターに毎月のチラシを渡す。延長利用、同日入退所を勧めていく。
7 月８日	79.68%	他市に営業範囲を拡大。カラオケ機械を新しくし活動を充実させていく。
8 月 12 日	89.03%	30 分間隔の受け入れを 10～20 分間隔で実施。
9 月 9 日	88.00%	夏祭りを実施。図書室を充実させている。
10 月 14 日	95.65%	Ｄｒ不在時に看護師にて抗原検査開始。
11 月 11 日	94.50%	看護師による抗原検査での受け入れに伴い、土曜日の午後利用開始実施。
12 月 9 日	93.55%	ロングショートステイから特養スライド入所を進める。
1 月 13 日	50.81%	コロナクラスターにより、会議中止
2 月 10 日	22.68%	コロナクラスターにより、会議中止
3 月 10 日	57.26%	クラスター終息によりショート受け入れ再開。居宅事業所にあいさつ回り。

愛全園ショートスティの課題と改善策

・愛全園ショートステイの魅力とベネフィットに関する情報発信（施設長ブログ・愛全園Line・広報誌等活用）

・さらなる活動の充実（愛全園センターとの連携）

・マーケティング戦略を活用したショートステイパンフの作成

・特養入所を前提としたショート利用に関するご案内（関係自治体との連携強化）

・併設デイサービス・養護老人ホーム偕生園との利用者情報の更なる共有

・同日入退所の積極的受け入れ

３．運営状況

（１）利用者活動

①　年間行事実施状況

実施月	行事名	内容	参加者
４月	観桜会	中止	利用者 0 名・職員 0 名
５月	バラ見学バスツアー	中止	利用者 0 名・職員 0 名
５月	お茶会	中止	利用者 0 名・職員 0 名・Vo0 名・家族 0 名
８月	納涼祭	8/19、8/24	利用者 42 名・職員 16 名・家族 0 名
９月	敬老会	9/19	利用者 41 名・職員 14 名・家族 0 名
11 月	紅葉バスツアー	中止	利用者 0 名・職員 0 名
11 月	フェニックス発表会	中止	利用者 0 名・職員 0 名・Vo0 名
12 月	年忘れバイキング	12/16、12/19 ケーキバイキング	利用者 42 名・職員 13 名・Vo0 名
１月	元旦式典・出し物	内容変更し新年の挨拶動画	利用者 42 名・職員 7 名・家族 0 名

新型コロナウイルスにより年間行事もほとんど中止や内容の変更を行っての実施であった。

②　クラブ活動実施状況

クラブ名	年間参加人数
書道部➡書道	220 名
華道部➡花レク	416 名
カラオケ部	1,374 名
健康体操クラブ	9,310 名
園芸活動	135 名

新型コロナウイルスにより外部講師を呼ぶクラブ活動を全面的に自粛したが
書道と華道については、それぞれスタッフにより形態を変えて実施した。
また、１階では園芸活動として、プランターでスナップエンドウを栽培したり
２階では利用者の居場所を増やす為に、娯楽室を図書室にすることで
様々な種類の本を用意し、またネットテレビで好きな番組が見られるように
することで、多くの方に楽しんでいただけた。

（２）諸会議実施状況

①　ケース会議

月	議題
４月	利用者 5 名のケア計画立案
５月	利用者 12 名のケア計画立案
６月	利用者 12 名のケア計画立案
７月	利用者 9 名のケア計画立案
８月	利用者 12 名のケア計画立案
９月	利用者 10 名のケア計画立案
１０月	利用者 10 名のケア計画立案
１１月	利用者 11 名のケア計画立案
１２月	利用者 9 名のケア計画立案
１月	利用者 0 名のケア計画立案
２月	利用者 0 名のケア計画立案
３月	利用者 20 名のケア計画立案

ケース会議：年間で 110 名の利用者ケース検討を行った。看取りカンファレンス、デスカンファレンスも適宜実施した。

②　事故発生予防対策委員会

月	議題
４月～３月	ヒヤリハット・事故報告の検証　各階の主任から報告書の中の事例の説明

事故・ヒヤリハット等の状況（ショートステイも含む）

事故内容	件数	内訳		
		経過観察	要通院（要治療）	入院
転落(ずり落ち)	51	51	0	0
転倒	39	39	0	0
誤薬・配薬ミス	10	10	0	0
皮膚等損傷	61	61	0	0
誤嚥・窒息	0	0	0	0
その他	18	18	0	0
ヒヤリハット	445	―	―	―

令和 4 度事故報告総数は 179 件。事故予防対策委員会にて再検証を実施。

また、ヒヤリハットでは一つの事故に 300 のヒヤリがあることで、小さな気づきでも記入するようにした。

毎朝の朝礼で、ヒヤリハットの報告を実施することで、事故を防止した。

③　職員会議（フロアミーティング）

月	議題	1F 参加人数	2F 参加人数
４月	各フロア業務についての自由意見、クレド、荷物チェック	8 名	7 名
５月	各フロア業務についての自由意見、クレド、OH スケール、虐待	7 名	8 名
６月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
７月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
８月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
９月	各フロア業務についての自由意見、クレド、KYT	7 名	8 名
10 月	各フロア業務についての自由意見、クレド	8 名	7 名
11 月	各フロア業務についての自由意見、クレド、iPad	7 名	8 名
12 月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
１月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
２月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止
３月	各フロア業務についての自由意見、クレド	中止	中止

コロナクラスターにより開催できない月があったが、フロア業務について
参加者から自由に意見をあげてもらい業務改善に繋げた。

（他施設内委員会）

④ 介護医務栄養会議：年間 12 回開催…多職種間で情報交換を行い課題への連携を確認。
利用者の要介護度の適正確認。経営方針と今後の方向性の共有化。

⑤　新規入所者検討委員会：年間 12 回開催 … 新規入所者の判定とベットコントロール

⑥　褥瘡予防委員会：年間 12 回開催…　看護師により褥瘡者の治療とケアについて報告

⑦　感染症対策委員会：年間 12 回開催…　主に、法人感染症委員会の内容の周知

⑧　身体拘束廃止委員会：年間 12 回開催…身体拘束適正化のための指針に基づく確認
各種センサー類、柵の位置確認を行った。

上記④、⑤、⑥、⑦、⑧の会議、委員会は、毎月第二金曜日に開催。参加者は、園長、介護課長、相談員、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員、フロア主任または副主任。

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
参加人数	8 名	9 名	8 名	9 名	8 名	10 名

月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
参加人数	10 名	10 名	9 名	クラスターの為中止	クラスターの為中止	10 名

（３）利用者家族の状況

①面会

面会数	昭島	国立	渋谷	世田谷	大田	荒川	豊島	練馬	飯能	八王子
１２回以上	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0
６～11 回	26	0	1	1	0	0	0	0	0	0
１～５回	37	5	1	9	0	1	0	1	1	1
０回	24	1	5	4	3	2	1	0	0	0
計	99	6	7	15	3	3	1	1	1	1

面会については、新型コロナウイルス感染対策によりボランティア室に簡易陰圧室を設置。ご家族様に簡易陰圧室に入って頂き予約制にて行っています。コロナクラスター時は窓越し面会を実施。

②オンライン面会の利用状況

面会数	12 回以上	6～11 回	1～5 回
利用者数	1	0	5

新型コロナウイルス感染症対策により、ＺＯＯＭを利用した面会を設定。ホームページやお便りで家族に周知した。

③家族会　　入会者数　95 名

家族会開催回数

総会	懇談会	役員会
0 回	0 回	0 回

毎年度ごとに総会 1 回、懇親会 1 回、役員会 2 回、開催してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の対応のためすべての開催を見合わせた。

（４）リハビリ実績

月	ＰＴによる機能評価	ＯＴによる機能評価
４月	29	21
５月	35	15
６月	21	14
７月	21	12
８月	30	18
９月	29	15
10 月	23	17
11 月	16	10
12 月	23	13
１月	8	0
２月	2	0
３月	36	21

月	理学療法			
	筋力強化	歩行訓練	ＲＯＭ訓練	リハマシン
４月	764	432	98	493
５月	658	399	76	470
６月	703	402	124	495
７月	807	702	117	601
８月	719	456	67	543
９月	776	486	133	564
10 月	830	506	140	584
11 月	870	491	174	600
12 月	954	558	160	660
１月	371	171	94	222
２月	238	122	49	149
３月	661	508	98	488
合計	8,351	5,233	1,330	5,869
月	ラジオ体操	全身体操	口腔体操	棒体操
４月	1,084	1,394	2,717	679
５月	1,058	1,500	2,826	727
６月	1,150	1,475	2,845	762
７月	1,124	1,682	3,015	949
８月	1,138	1,313	2,809	1,197
９月	1,205	1,488	3,043	1,010
10 月	1,246	1,515	3,169	1,125
11 月	1,173	1,400	2,959	915
12 月	1,283	1,440	2,988	1,008
１月	398	1,142	1,249	319
２月	31	234	241	0
３月	871	1,452	2,486	619
合計	11,761	16,035	30,347	9,310

（５）モニター活動

モニター名	活動・実績・課題
排泄	・年２回(夏・冬)の定期尿測。必要時の尿測及びアセスメントの実施（新入所時も含む） ・汚物室、各カートの清掃。軟膏、物品の発注、管理。 ・新人職員への排泄検定の実施。 ・テーナ導入し排泄時間の見直し
食事	・利用者の機能に沿った食事内容・食事席の検討。 ・自助具、口腔ケア用品等の使用物品の発注・管理。 ・補助栄養の発注・管理。 ・配膳室内の清掃。 ・新人職員への食事検定の実施。 ・ミールラウンドの計画及び進行の確認。 ・記録表管理。
入浴	・入浴アセスメントを実施し、個々の利用者に適した入浴形態の検討。 ・手浴・足浴者の対応・管理。 ・行事湯(菖蒲湯・柚子湯)の実施。入浴剤の準備・管理 ・入浴日確認表・衣類交換確認表更新。 ・毎月の体重測定の実施・管理。 ・新人職員への入浴検定の実施。 ・特浴・チェア浴・一般浴・ボード浴の清掃・管理・メンテナンス。 ・リース用洗身タオル・バスタオルの管理。 ・S/S 稼働率 UP に伴う日曜入浴の実施（２F）
リハ・安全対策	・居室ベッド環境表作成・更新。 ・安全対策管理表の見直し更新。 ・車椅子清掃(2F 毎週日曜日) ・クッション類の把握・管理　防水カバー購入。
研修	・教職課程介護等体験学生受け入れ（新型コロナウイルスにより中止）

排泄の課題：機能別のアセスメント実施のタイミング。清潔区域の見直し。
排泄ケアのタイミングの見直し。

食事の課題：各フロア　テーブルごとの職員の動きの手順書作成。物品管理の手順書作成。

入浴の課題：利用者の入浴日の見直しによる業務の平準化。準備片付け等の手順書作成。

リハの課題：ＰＴ・ＯＴとの連携。ベッド環境等更新の統一。物品管理。

（６）研修・外部活動等

施設内研修

実施月	研修名	参加者人数
4 月	事故防止研修（事故、ヒヤリハットについて）	２１
	褥瘡予防研修	８
	虐待研修（新入職職員向け）	３
5 月	事故防止研修（事故、ヒヤリハットについて）	２２
	褥瘡予防研修	９
	身体拘束研修	９
6 月	褥瘡予防研修	８
7 月	褥瘡予防研修	９
	虐待研修（新入職職員向け）	３
８月	褥瘡研修（看護師による研修）	２８
	口腔衛生研修	４
９月	接遇・マナー研修（今月のクレドから）	１９
	事故防止研修（事故、ヒヤリハットについて）	１９
	褥瘡予防研修	１０
	虐待研修（身体拘束について）	１９
10 月	感染症研修　（新型コロナウイルス、嘔吐処理）	２２
	接遇・マナー研修（今月のクレドから）	２０
	事故防止研修（事故、ヒヤリハットについて）	２０
	褥瘡予防研修	１０
	虐待研修（新入職職員向け）	３
11 月	接遇・マナー研修（今月のクレドから）	１８
	事故防止研修（事故、ヒヤリハットについて）	１８
	褥瘡予防研修	１０
	認知症研修	２５
	医療研修（胃ろうについて）	４５
12 月	褥瘡予防研修	９
1 月	感染症研修（コロナクラスターにおける対応）	３７
3 月	メンタルケア研修	４５
	褥瘡予防研修	１０
	虐待研修（プライバシー保護）	２１
	虐待研修（新入職職員向け）	４
	口腔衛生研修	４

褥瘡、感染症、身体拘束については褥瘡予防委員会,感染症対策委員会,身体拘束廃止委員会にて行い、職員に関しては夕方のミーティング前に研修を行う。また各研修に参加されていない職員にはプリントを配布する。

外部研修・委員会

実施月	研修名	参加者
6 月～9 月	東京都介護職員によるたん吸引等実施の為の研修	介護職　2 名
10 月	東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修	1 名
12 月	介護報酬請求に関する研修会（オンライン研修）	相談員・事務員　3 名
10 月～3 月	東京都介護職員によるたん吸引等実施の為の研修	介護職　2 名

内部研修

実施月	研修名	内容	講師	参加職員数
6・11 月	相談員悉皆研修	セルフスーパービジョン	福山和女氏	4 名
7・10 月	相談員悉皆研修	潜在意識・コーチング	丸山園長	4 名
4・7・10・11 月	法人新入職職員研修	法人理念・法人医療のあり方・法人職員としての期待	理事長・診療所所長・施設長	4 名
10 月	法人感染症研修各部署毎に変更	感染症の予防・対策	丸山園長	22 名程度
10～11 月	法人内他職場交流研修（中止）	他職場を体験し、学びを得る	各事業所主任・副主任	中止
3 月	法人研修・研究成果発表会	各事業所から発表（Zoom で開催）	各事業所発表者	20 名程度

研究発表

実施日	発表会名	発表テーマ	参加職員数	会場
10 月 31 日～11 月 30 日	アクティブ福祉 in 東京‘22	見守り支援システム導入による利用者の安全確保と睡眠観察	２名	東京都社会福祉協議会事前収録による WEB 配信

毎週水曜日のＮＳＴ ラウンドの際にも介護職員が参加し、会議内での報告を夕方のミーティング等で報告し、情報の共有化を図っており、勤務の中に組み込む研修を実施した。

教育実習（教員免許法の特例による社会福祉施設における介護等体験事業）
　令和４年度の教育実習生は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ中止。

社会福祉士実習
　令和４年度は２名の実習実施。（杏林大学学生）コロナ禍の為、オンライン中心の実習。

法人交流・市内相談員交流会
　年６回、ＺＯＯＭにて市内特養相談会を実施。

実施日	発表会名	議題・発表テーマ	参加職員数
4 月 28 日	第 1 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換	２名
6 月 23 日	第 2 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換 ・自宅に戻りたい利用者の事例検討	２名
8 月 25 日	第 3 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換 ・看取り援助についての研修	１名
10 月 27 日	第 4 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換 ・LIFE についての研修	２名
12 月 22 日	第 5 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換 ・見守り支援システムについての研修	４名
2 月 24 日	第 6 回昭島市特養生活相談員連絡会	・施設間の情報交換 ・外国人雇用についての研修	１名

＜施設長・外部活動＞
東京都社会福祉協議会

総務委員会	11/5、1/19 オンライン	令和 3 年度事業報告、令和 4 年度事業計画、活動、高齢協が取り組むべき課題等主に東社協の担当者からの報告が高齢協にも関係する案件もあり、積極的意見交換に努めた。

高齢者施設福祉部会

北南地域ブロック会（センター長、施設長合同方式）	3/1	現状の施設の報告、情報交換

特養施設長分科会

特養施設長分科会	12/6 オンライン	コロナクラスター情報交換

北南ブロック市内活動

市内施設長会	4/15、6/17、8/19、10/21、12/16、2/17	各施設の状況報告、コロナクラスター対応、コロナ手当関係、省エネに関する取組、建物修繕関係、規程類等

昭島市保健福祉部介護福祉課共催

昭島市介護人材確保実行委員会	中止	中止

昭島市介護保険推進協議会	書面開催

（７）共同研究

実施月	内容
４月～３月	日常生活動作等の科学的評価法の開発　　産総研

国立研究開発法人産業技術総合　人工知能研究センターから協力依頼の食堂や室内移動等における歩行状況等を生活行動の一部として記録し、記録したデータを分析し、より安全な新しい製品を開発していくことを目的として、プライバシーに十分配慮した上で、利用者の生活行動をセンサーカメラで記録しています。また、施設としても事故検証の資料として活用しています。

（８）公益財団法人　東京都福祉保健財団

令和４年度アドバンストセミナー	1/20、2/16、3/16	令和４年度「次世代介護機器導入・デジタル機器導入補助金」に申請し参加

利用者活動の充実と職員のモチベーションアップのため、コミュニケーションロボット「パルロ」を購入の為、令和４年度「次世代介護機器導入・デジタル機器導入補助金」の申請に通りアドバンスセミナーに参加。令和５年度、「パルロ」を活用し活動していきます。

（９）福祉サービス第三者評価について

令和４年度

利用者家族アンケート調査を実施。

【評価機関名：特定非営利活動法人あすねっと】

【利用者調査：指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】
≪事業所名：特別養護老人ホーム愛全園≫
調査対象：全利用者１０９名中、調査が可能な１０名に対し調査を実施し全員から有効回答を得た。
家族調査については書面にて実施、４９名から回答があった。
調査方法：２人の調査員が、利用者と１対１の聞き取り調査を行った。調査に当たっては、事前に事業者と十分に協議し、聞き取り調査にあたり留意すべき事項等について説明を受け、利用者の意向がより把握できるよう工夫して実施した。調査票は共通項目を使用。

利用者調査全体のコメント
総合的な満足度では、「大変満足」１８人、「満足」２２人で、合わせて４０人（８０％）の利用者が満足と答えている。一方、「どちらともいえない」は５人（１０％)、「不満」、「大変不満」はいない。高い満足度を得ている。日頃感じている施設に対する意見・要望では、「感謝している」、と感謝の声が多く寄せられている。コロナ禍で家族の立ち入りや面会の制限などにより、家族にとって見えない部分が多く、そのことに対しての不安がうかがえる結果でもあった。
今後も第三者評価から得た貴重な意見をしっかりと受け止め施設内の改善に努めていく。

令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

愛全園在宅センター

1.昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園
2.居宅介護支援センター愛全園
3.訪問介護　ヘルパーほほえみ
4.昭島市南部地域包括支援センター愛全園
5.昭島市西部地域包括支援センター愛全園

令和４年度　事業報告

1. 昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園

（1）利用状況

	通所			総合			認知		
年度	2 年度	3 年度	4 年度	2 年度	3 年度	4 年度	2 年度	3 年度	4 年度
定員数	5905	5975	5945	2570	2590	2590	10476	10584	10548
利用予定数	6597	6429	6629	2074	1636	1368	9856	9447	10027
利用実数	4899	5148	5455	1560	1327	1146	7799	7900	8338
お休み件数	1698	1281	1174	515	309	222	2067	1492	1689
稼働率	82.9	86.2	91.8	60.5	51.2	44.2	74.5	74.6	79.1
お休み率	25.3	20	17.8	24.9	19.1	16.3	20.6	15.7	16.8

※「定員数」は、一日を通所 20 名（土曜 15 名）、総合 10 名（土曜営業なし）、認知 36 名（土曜 24 名）として、営業日数で乗じたもの。
※「利用予定数」は、登録利用者と追加利用者を加算したもの。提供票上では利用予定ではないが、統計でデータが取れるように当該日に利用が予定されていると仮定し、全利用者数を表す。
※「利用実数」は利用された全件数、「お休み件数」は当日キャンセルを含むお休みされた利用者数を表す。
※「稼働率」「お休み率」の計算式は次の通り。
稼働率＝（利用実数÷定員数）×100。お休み率＝（お休み件数÷利用予定数）×100。

4 年度の稼働率、お休み率は以下の通り。

＜令和４年度　月別利用状況＞

通所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	495	500	500	495	520	500	495	500	500	460	460	520	5945	495.4
利用予定数	472	486	515	539	604	575	583	575	573	543	545	619	6629	552.4
利用実数	371	399	427	432	462	449	501	481	486	445	449	553	5455	454.9
お休み件数	101	87	88	107	142	126	82	94	87	98	96	66	1174	97.8
稼働率	74.9	79.8	85.4	87.3	88.8	89.8	101.2	96.2	97.2	96.7	97.6	106.3	91.8	91.8
お休み率	21.4	17.9	17.1	19.9	23.5	21.9	14.1	16.3	15.2	18	17.6	10.7	17.8	17.8

総合

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	210	220	220	210	230	220	210	220	220	200	200	230	2590	215.8
利用予定数	120	119	124	115	119	116	98	108	111	102	112	124	1368	114
利用実数	101	102	112	89	99	86	84	93	93	84	91	112	1146	95.5
お休み件数	19	17	12	26	20	30	14	15	18	18	21	12	222	18.5
稼働率	48.1	46.4	50.9	42.4	43	39.1	40	42.3	42.3	42	45.5	48.7	44.2	44.2
お休み率	15.8	14.3	9.7	22.6	16.8	25.9	14.3	13.9	16.2	17.6	18.8	9.7	16.3	16.3

※通所系 （通所＋総合の 合算）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	705	720	720	705	750	720	705	720	720	660	660	750	8535	711.3
利用予定数	592	605	639	654	723	691	681	683	684	645	657	743	7997	666.5
利用実数	472	501	539	521	561	535	585	574	579	529	540	665	6601	550.1
お休み件数	120	104	100	133	162	156	96	109	105	116	117	78	1396	116.3
稼働率	67	69.6	74.9	73.9	74.8	74.3	83	79.7	80.4	80.2	81.8	88.7	77.4	77.4
お休み率	20.3	17.2	15.6	20.3	22.4	22.6	14.1	16	15.4	18	17.8	10.5	17.5	17.5

認知

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	876	888	888	876	924	888	876	888	888	816	816	924	10548	879
利用予定数	802	815	832	814	860	834	824	852	873	801	804	916	10027	835.6
利用実数	681	685	712	680	681	651	692	706	719	676	679	776	8338	694.8
お休み件数	121	130	120	134	179	183	132	146	154	125	125	140	1689	140.8
稼働率	77.7	77.1	80.2	77.6	73.7	73.3	79	79.5	81	82.8	83.2	84	79.1	79.1
お休み率	15.1	16	14.4	16.5	20.8	21.9	16	17.1	17.6	15.6	15.5	15.3	16.8	16.8

稼働率　目標稼働率通所系 90%、認知 80%に対して

通所系：77.4%(3 年度 75.6%)、認知：79.1%(3 年度 74.6%)。

お休み率　通所系：17.5%（3 年度 19.8%)、認知：16.8%(3 年度 15.7%)。

令和 3 年度と令和 4 年度と比較し通所稼働率は増加し、年間を通してコロナ禍の影響を受けつつも回復傾向。新規の利用者の流れが増加、消毒の徹底も実施することで安定した経営になった。予防・総合については、通所系合算（通所＋予防）で定員が 30 名と決まっている中で、通所の利用者が増えると予防の利用者が減り、予防の利用者が増えると通所の利用者が減るというバランスにある。令和 4 年度のお休み率では通所系は減少したが認知は増加。認知の登録利用者が増えているので予定数が増加している分お休み率も増加している。

（2）お休み件数

		通所			総合			認知		
年度		2 年度	3 年度	4 年度	2 年度	3 年度	4 年度	2 年度	3 年度	4 年度
お休み件数		1698	1281	1174	515	309	222	2067	1492	1689
理由	入院	364	136	163	31	16	21	309	251	300
	通院	64	111	71	22	23	14	79	60	120
	静養・体調不良	269	381	285	107	128	69	335	265	288
	私用	757	254	335	354	140	110	564	429	448
	他施設 S/S	160	114	55	0	0	0	504	92	206
	愛全園 S/S	45	227	193	0	0	0	207	295	280
	提供票上	39	58	72	1	2	8	59	100	47

※「愛全園 S/S」は併設の特別養護老人ホーム愛全園のショートステイ、「他施設 S/S」は、他の特養、老健のショートステイを表している。
※「提供票上」とは、ケアマネージャーから提供票が渡された段階で、既にお休みが予定されていたもの。私用や定期通院等がこれに該当するが、明確に理由が伝えられていないケースも多いため、「提供票上」として集計とした。尚、「提供票上」のお休みについては、振替利用対応を行うことで、稼働率に影響がない対策を講じた。

＜令和 4 年度　月別お休み件数＞

通所

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		101	87	88	107	142	126	82	94	87	98	96	66	1174	97.8
理由	入院	44	28	9	2	1	12	14	11	8	10	19	5	163	13.6
	通院	3	2	6	7	8	5	5	4	7	9	4	11	71	5.9
	静養・体調不良	17	19	26	36	37	17	9	29	29	27	24	15	285	23.8
	私用	16	18	15	30	43	49	23	21	25	41	41	13	335	27.9
	他施設 S/S	2	1	7	2	8	9	5	3	2	2	6	8	55	4.6
	愛全園 S/S	16	14	23	25	32	23	19	13	9	8	0	11	193	16.1
	提供票上	3	5	2	5	13	11	7	13	7	1	2	3	72	6

総合

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		19	17	12	26	20	30	14	15	18	18	21	12	222	18.5
理由	入院	4	5	2	2	1	4	0	0	0	0	3	0	21	1.8
	通院	1	0	1	2	1	0	1	1	0	2	4	1	14	1.2
	静養・体調不良	0	4	2	12	11	6	7	4	6	5	3	9	69	5.8
	私用	14	7	7	9	7	20	6	10	12	9	7	2	110	9.2
	他施設 S/S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛全園 S/S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	提供票上	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	4	0	8	0.7

認知

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		121	130	120	134	179	183	132	146	154	125	125	140	1689	140.8
理由	入院	7	20	31	28	32	41	36	34	36	12	6	17	300	25
	通院	7	8	13	13	10	7	12	13	10	13	4	10	120	10
	静養・体調不良	35	18	20	14	19	16	10	10	36	28	47	35	288	24
	私用	36	24	23	37	62	69	29	39	32	47	38	12	448	37.3
	他施設 S/S	1	5	4	18	15	19	18	22	17	17	27	43	206	17.2
	愛全園 S/S	31	51	19	22	34	29	23	26	22	5	0	18	280	23.3
	提供票上	4	4	10	2	7	2	4	2	1	3	3	5	47	3.9

機能訓練において常勤 PT の配置により、自宅の様子なども含め細かく利用者の状態を知ることが出来、多くの利用者に効果がでるようになった。朝の時間だけでなく、昼食後や午後の時間もリカンベントバイクを活用される利用者も増々増えてきた。平成 30 年度から、健康への意識を高め理解を深めて頂けるよう、何か一つに特化するのではなく、専門職による機能訓練、口腔ケア、栄養評価、組み合わせ、個別メニューを総合的に見ている。お休み分の振替利用についても定着し、積極的にご利用して頂けるよう機会も多くなった。新しいご利用者・ご家族などへも、積極的な利用をご案内していきたいと思う。

（3）新規利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	総計
通所	0	4(1)	5	1	2(2)	1	1(2)	3	2	2	2	2	25 (5)	61(12)
予防	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	2	1	11	
認知	4	2	2	2	3	4(1)	0(1)	3(3)	1(1)	0	1(1)	3	25 (7)	

※(　)内は別事業から移行した人数を表す。たとえば、(予 1)は予防デイから移行、(通 1)は通所デイから移行を意味する。

（4）利用停止状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	総計
通所	1	1	2	2	0	0	2(1)	0(3)	1(1)	0	2(1)	1	12(6)	46 (12)
予防	0	0(1)	1	1	1(2)	1(1)	0(2)	0	0	0	0	0	4(6)	
認知	2	3	2	5	5	2	4	3	1	1	0	2	30	

＜停止の理由＞通所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院	1	1	1	1					1		1	1	7
入所							2						2
他施設													0
静養											1		1
私用													0
移行							1	3	1		1		6
逝去			1	1									2

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

＜停止の理由＞総合

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院			1										1
入所													0
他施設													0
静養				1	1								2
私用						1							1
移行		1			2	1	2						6
逝去													0

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

＜停止の理由＞認知

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院				1	1	1	2	1	1			1	8
入所		1	1	1	3	1	1	2					10
他施設													0
静養	1			1	1		1			1		1	6
私用				1									1
区分変更													0
逝去	1	2	1	1									5

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

新規利用者数は、コロナ禍の影響があったが令和 3 年度よりも増加している。利用停止者の理由で施設入所が増加している。コロナ禍にあって施設の入所に踏み切った方が増加している。消毒を徹底している効果もあり、体調不良者は減っていて、インフルエンザ等で休まれる方は減少していた。認知デイのイメージである重度者だけでなく、積極的に認知予防にも力を入れ、軽度認知症の利用者が活き活きと活動されている当デイサービスの印象がケアマネージャーに理解されてきたと考えられる。

ご家族には在宅時間が長く歩行状態が心配、といった感想を耳にすることが増えた。YouTube 等も活用して、デイでの取り組みを配信している。また他のデイサービスから当デイサービスへ切り替える利用者もみられ、当デイサービスの特徴である歩行を中心にした運動や認知予防への取組みが受け入れられている。従来はクラブ活動で当デイサービスを選ぶケアマネージャーが多かったところ、最近では歩行をしたい、機能訓練をしたい、認知予防によいといったことで当デイサービスを選んでいただけるようになった。地域のケアマネージャーにも広く認知されてきている。

（5）利用者の概要

以下（5）の①および（6）（7）はすべて、5 年 3 月期に利用実績のあった方について集計しています。

① 介護度別人数および平均介護度

通所	男性	女性	計
要介護度 1	3	21	24
要介護度 2	4	17	21
要介護度 3	1	6	7
要介護度 4	4	5	9
要介護度 5	2	1	3
平均介護度	2.6	2	2.2

認知	男性	女性	計
要介護度 1	6	14	20
要介護度 2	4	11	15
要介護度 3	5	19	24
要介護度 4	0	6	6
要介護度 5	0	3	3
平均介護度	1.9	2.5	2.4

総合	男性	女性	計
要支援 1	3	6	9
要支援 2	4	5	9
平均介護度	1.6	1.5	1.5

要介護度 1～3 の割合が、通所デイで 81.3%、認知デイで 86.8%、平均で 84.1%となっています。入退所はあるものの通所デイの多くの利用者は前年度から引き続き、継続利用されているリピーター利用であり、多くの利用者の介護度が維持されている。新規の利用者の介護度が低いこともあり、機能訓練や認知症予防、また、コロナ禍においても新しく取り入れた多種多様なレクリエーション、手先を使う趣味活動等を通して、心身ともに活性化できる取組みを行い、在宅生活を維持するためのデイサービスの役割を果たすことができた。

（6）各種サービス状況

	通所	総合	認知
入浴介助	1868＊421（40）＝786428	0	1977*421（40）=832317
個別機能訓練Ⅰロ（運動器機能向上）	4118*895（85）＝3685610	214＊2371（225）＝507394	6909＊284（27）＝1962156
個別機能訓練Ⅰイ	1051＊590（56）＝620090		
個別機能訓練Ⅱ	710＊210（20）＝149100		786＊210（20）＝165060
ADL 維持等加算Ⅰ	710＊316（30）＝224360	0	761＊316（30）＝240476
栄養改善	0*1581（150）= 0	0*2108（200）＝0	0*2108（150）＝0
栄養アセスメント	710＊527（50）＝374170	214＊527（50）＝112778	786＊527（50）＝414222
口腔・栄養スクリーニング加算Ⅱ	109＊52（5）＝5668	35＊52（5）＝1820	107＊52（5）＝5564
口腔機能向上	143＊1686（160）＝241098	172＊1686（160）＝289992	548＊1686（160）＝923928
科学的介護推進加算	710＊421（40）＝298910	214＊421（40）＝90094	786＊421（40）＝330906
赤星式音楽療法	0	0	0

※上記はそれぞれ加算名にもとづき表記している。なお、括弧内は予防デイにおける呼称である。

入浴サービスは現在、月曜から土曜まで一日あたり 15～20 名（月～金）、13 名（土）を受け入れ可能な枠としている。新規利用依頼における入浴のニーズは高く、入浴サービス提供の可否は稼働率向上のための大きな鍵にもなる。できる限り多くの利用者に入浴していただきたいことから、チェア浴を 1 台増やして稼働し、週 2 回の入浴を基本に取り組んだ。入浴介助のマンパワーも限界にきている事から、振替入浴や空き待ち入浴を代替え案として提示し、多くの利用者に入浴していただけるようにしている。

機能訓練では、歩行練習も定着し積極的に歩行する利用者も増えてきた。リカンベントバイクを活用する利用者も増え、朝だけでなく、午後の時間もリカンベントバイクを活用する利用者が増加した。通所デイではストレッチと負荷をかける体操により、機能向上につながる体操、認知デイでは比較的簡単な動作で頭を活用する体操と、目的に合った体操を実施している。常勤理学療法士により、全利用者の個別機能訓練加算に取り組んだ。

令和 4 年度もらくしゅう式脳機能訓練、歩行訓練により、認知症予防に対し積極的に対応している。

口腔機能向上サービスは、歯科衛生士の指導のもと、健口体操（唾液腺マッサージ、咀嚼筋トレーニング、嚥下・構音訓練ほか）を実施、個別の指導も行うなど充実した口腔機能向上サービスとなってきている。食後の口腔清掃を行う利用者も増加している。午前中の活動前、昼食後管理栄養士による栄養サポートを始め、個々の栄養状態にも着目している。在宅での栄養状態の関心を高めていきたい。継続した皆勤賞の導入により、デイサービスに通う利用者のモチベーションアップにつながっている。機能訓練、口腔機能、栄養とそれぞれを単体でとらえる傾向にあったが、より効果を高めるために、機能訓練、口腔機能、栄養にレクリエーション活動を加え、総合的にプロデュースすることで、今まで以上に心身ともに元気になっていただけるよう取り組む必要がある。

（7）日常生活動作の状況

①食事

食事形態	通所	総合	認知
普通食	50	15	40
一口大	9	2	18
含浸食	4	1	10
手作り流動食	1	0	0
その他	0	0	0

食事介助状況	通所	総合	認知
自立	59	18	64
一部介助	3		3
全介助	2		1

②入浴

入浴形態	通所	総合	認知
入浴利用実数	28		37
一般浴			
中間浴	28		37

入浴介助状況	通所	総合	認知
自立	5		3
一部介助	17		28
全介助	6		6

③　排泄

排泄介助状況	通所	総合	認知
自立	46	20	39
一部介助	17	0	33
全介助	2	0	0

（8）利用者活動

①　年間行事実施状況

月	行事名	対象	内容	回数	参加人数
7 月	センター夏祭り（2 日間）		お祭り紹介、お祭りレクリエーション	2	96 名
9 月	敬老の日お祝い会		お祝い膳	1	52 名
12 月	愛全園劇場（2 日間）		演劇	2	114 名
	フラワーアレンジ			4	216 名
	デザートレク			3	153 名

令和 4 年度は感染予防策を徹底しながら行事を再開、センター夏祭りについては開催した。また敬老のお祝い会については、お祝い膳の提供のみとした。コロナ禍での活動の工夫がきっかけとなり、スタッフ全員で協力し、YouTube 等も新たに活用した様々な活動や機能訓練メニューを考え、定期的に実施することに繋がり、ご利用者の満足度を得ることが出来た。

②　クラブ活動実施状況

クラブ名	実施日	内容	年間参加延べ人数
書道	月 2 回	見本に習い集中する機会を作ります。	96 名
共同作業	月 2 回	壁画を色画用紙やお花紙を使って装飾します。	1260 名

③　図書館の設置

新刊、雑誌、漫画等幅広いジャンルの図書を設置し、貸出ができる仕組みを作り、好評いただいている。また、返却をすることから、お休みが減る効果もあった。

（9）諸会議実施状況

① リーダー会議 （第 2 木曜日実施）

月	内容抜粋	参加対象職員
4	浴室の改修について	常勤リーダー層
5	活動、各委員会研修について	常勤リーダー層
6	リニューアル、アクティブ福祉発表、関東ブロック発表について	常勤リーダー層
7	リニューアルの進捗、ベッド購入について	常勤リーダー層
8	中止	
9	敬老イベントについて	常勤リーダー層
10	中止	
11	送迎車両の納車について	常勤リーダー層
12	エレベーターのテンキー、一般浴槽について	常勤リーダー層
1	利用者アンケート、来年度スローガンについて	常勤リーダー層
2	次年度の活動、事業計画について	常勤リーダー層
3	次年度の担当について	常勤リーダー層

② 職員会議

月	内容抜粋	参加職員数
4	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ コールボタン用ホワイトボードの試行。トイレ誘導について隠語（さんさん）の活用開始。	15 名
5	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 利用者間の物のやりとりの対応方法。点滅している蛍光灯の交換を徹底。	12 名
6	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 徒歩送迎のマニュアル改正。ビューティヘルパーが終わったご利用者の所在確認。	14 名
7	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 歩行訓練。1 便平行棒体操後のカラオケプログラムの周知。送迎の玄関前での職員の動き方。	13 名
8	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 午前中の排泄タブレッの使い方。昼食後のラウンドの開始。	13 名
9	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 共用歩行器の杖ホルダーの試行。偕生園のコロナのクラスター発生について応援できる事の検討。リースベッド導入についての説明。アクティブ福祉の発表を共有。	15 名
10	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 2F パーテーションのカラーコーンの取り扱い。エレベーターの誘導方法の確認。	14 名
11	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 2F から1F へ一人で降りてしまうご利用者の対応方法。2F テーブルの名前、リラクゼーションチェアの呼び鈴の検討。	14 名
12	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 照明の節電。送り待ち時間のお茶の提供方法について	14 名
1	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 次年度スローガンのアンケート・次年度の事業計画案・口腔ケア用エプロン、排泄ゴミ箱のサイズを検討	12 名
2	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 節電の工夫・次年度のスローガンについて	15 名
3	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 次年度の役割分担確認	14 名

③ 運営推進会議

月	内容抜粋	参加職員数
10	デイの紹介と歩行訓練、脳活性化プログラムの大切さを紹介（書面で提出）	0 名
2	認知症通所介護の取り組みの紹介とアクティブ福祉の発表の紹介（書面で提出）	0 名

職員会議では、直近の会議日以降、概ね 1 ヶ月間の事故・ヒヤリハット報告の検証を行っている。以下に、令和 4 年度の報告件数の総括を掲載する。

	内容	詳細	件数	計
事故	転倒・転落	転倒	6	6
		転落	0	
	薬関連	誤薬	1	2
		配薬ミス	1	
	車輌事故		3	3
	その他	異食	0	4
		誤嚥・誤飲	0	
		暴行	2	
		自傷行為	0	
		介護・処置中の外傷	2	
トラブル	事務処理上のミス		1	8
	サービスの不備		3	
	不祥事		0	
	その他		4	
			合計	23
ヒヤリハット			145	145

昨年度と比較するとひやりハット件数 154 件→145 件・事故トラブル報告件数 31 件→19 件と推移。
事故・トラブルについて「その他」の項目では、別形態のおやつを誤って提供・送迎表の紛失・車イスから床に降りる・駐車場所について近隣からの苦情 4 件があり、対応の見直しを行っている。ヒヤリハットや事故は、夕礼時、職員会議でフィードバック。記録は全員網等で掲示することで周知、注意喚起を行った。

（10）職種別職員状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長（管理者）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
通所予防	生活相談員（常）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	生活相談員(非)	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0,4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]
	介護職員（常）	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]
	介護職員(非)	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]
認知	生活相談員（常）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	生活相談員(非)	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]
	介護職員（常）	2 [2.0]	2 [2.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]
	介護職員(非)	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]
看護職員 （機能訓練指導員兼務）		3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	4 [2]	4 [2]	4 [2]	4 [2]	4 [2]	4 [2]	4 [2]
理学療法士 作業療法士		2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]
歯科衛生士		1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]
管理栄養士		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員		4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	3 [1]	3 [1]	3 [1]
運転手		4 [1.2]	3 [0.9]	3 [0.9]	3 [0.9]	4 [1.3]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	5 [1.7]	5 [1.7]	5 [1.7]

※[　]は常勤換算

（11）研修

① 施設内研修

開催日	担当	内容	参加職員
4 月	法人	非常災害時の対応について①（スプリンクラー操作）	1 名
5 月	岡部（センター） 中嶋（センター）	リハビリマシンの使用方法　内部研修 認知症研修①	15 名 18 名
6 月	中嶋（センター） 〃	熱中症予防についての内部研修 プライバシー保護の取り組みについての研修	14 名 14 名
7 月	法人 國井（センター）	副主任専門研修 倫理及び法令順守について（ハラスメントについて）	3 名 13 名
10 月	法人 中嶋（センター）	感染症研修 認知症研修②（アルツハイマー型認知症の理解と転倒予防）	17 名 15 名
11 月	北條（センター）	事故の発生、予防、再発防止についての内部研修 身体的拘束等の排除の為の取り組み/虐待の内部研修	13 名 13 名
12 月	中嶋（センター）	非常災害時の対応について②（防災知識） 事故の発生時緊急時の対応についての内部研修	14 名 18 名
1 月	北條（センター） 法人	感染症及び食中毒の発生、蔓延の防止についての内部研修 介護職研修	19 名 14 名
2 月	法人	安全運転研修	19 名
3 月	法人	新入職職員研修	2 名

※感染症研修は、法人悉皆研修の一環として実施

職員会議等で職員が集まるタイミングを活用し、事業所内で実施する内部研修を計画的に進めた。法人研修については、実施漏れがないように参加者の受講の進捗を教育研究室員、研修委員が確認している。

外部研修

開催日	主催	内容	参加職員
10 月 21 日	TALENT DYNAMICS 研修	テスト結果をふまえての解説	3 名

（12）実習生等受け入れ

①実習生受け入れ

福祉（高齢者）介護論実習

	0 名

② 介護等体験受け入れ

教員課程における介護体験

大学生受け入れ	0 名

③職場体験受け入れ

体験学習

中学生受け入れ	0 名

居宅介護支援センター愛全園　令和４年度　事業報告

≪人員配置≫

職員数（毎月１日現在）令和４年４月１日～令和４年６月30日

	令和４年４月～令和５年３月		
	常用（契約）	非常勤	常勤換算数
管理者（兼務）	１名	―	1
主任介護支援専門員 介護支援専門員	１名 ２名	０名 ０名	2.9

*4/1より介護支援専門員１名入職。

≪人員配置≫

職員数（毎月１日現在）令和４年７月１日～令和４年８月31日

	令和４年４月～令和５年３月		
	常用（契約）	非常勤	常勤換算数
管理者（兼務）	１名	―	1
主任介護支援専門員 介護支援専門員	１名 ３名	０名 ０名	3.9

*7/1より介護支援専門員１名入職。

*8月末で介護支援専門員１名退職（8月有給消化）

≪人員配置≫

職員数（毎月１日現在）令和４年９月１日～令和５年３月31日

	令和４年４月～令和５年３月		
	常用（契約）	非常勤	常勤換算数
管理者	１名	―	1
主任介護支援専門員 介護支援専門員	１名 ２名	０名 ０名	2.9

≪運営状況について≫

令和４年３月に職員１名の退職に伴い、運営基準違反を避けるために外部にケースを移行しており、その後、４月からの入職員が決まり増員している。また、3～4月と7～8月それぞれの月の間で介護支援専門員の入退職に伴う入れ替えがあり、利用者対応や新規利用者の獲得の遅延が発生しているが、主任介護支援専門員１名、介護支援専門員２名

（未経験）と人員配置については年間通して維持され、特定事業所加算Ⅲにおいても継続されている。

ケアプラン件数については、別紙令和3年度及び令和4年度事業実施状況一覧表の通り、昨年度に比べて前年度比では80.3%となり、全体でケアプランのべ件数は約493件程度減少している。人員配置については、一時は2.9名から3.9名に増員しているが、翌月減員となり、平均して2.9名となっている。今回の稼働率減少の要因は、退職職員と入職職員の時期が合わず外部にケースを移行せざる得ない状況があり年度当初に稼働率が低下した。

また、新型コロナウイルス等の入院やサービス利用控え、職員の増減や力量の差異による利用者数調整において、新規受け入れのタイミングに遅れをとった事が要因であった。

また今年度は、負担となる介護ソフトの入れ替えも実施しており、居宅事例検討会内での新しい取り組み等や職員教育を丁寧に行う事で、職員数の安定と介護支援専門員としての力量の底上げ等を図り、安定した運営ができるよう努める。また、ICTを活用する事により、担当者数を最大39件から44件に増加する事も可能となるため、環境が整い次第取り組んでいく事としている。

実習生の受け入れについては、新型コロナウイルスの影響にて依頼がなかった。今後は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、実習生についても計画的に受け入れていく。ケアマネジメント業務については、主にリモート等を活用し、内部研修やあきしま地域福祉ネットワークでの研修会への参加、センター方式のアセスメントを今年度も活用したことなどにより、制限された環境の中でも、利用者本位のマネジメントができた。

来年度も包括支援センターと連携し、積極的にケースの受け入れを図っていく。

≪研修参加≫

研修に関しては、下記の研修参加一覧表の通りに参加し、資質の向上に努めた。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモート活用を主として行った。内部研修では、委員会活動などに参加し、積極的に内部の相互連携を図った。法人内のカンファレンスなどで、より細かな観察の視点で利用者のケアの組み立てをしてきた。外部研修では、自己研鑽や資質の向上を図り、日々の業務に活かしてきた。

ケアマネとして広く制度を理解するために、外部研修に参加し、事業所内で勉強会を開催し、情報共有することにより、利用者やご家族、サービス事業所への対応も混乱なくできた。コンプライアンスを遵守した運営を行っていくために、今後も事業所内研修等を行っていく。

研修参加一覧表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	内部研修	外部研修	
		あきしま地域福祉ネットワーク	その他
4月	医療研修（高齢者の	（ケアマネ部会）	

	便秘について）	「地域課題について」	
5 月		（全体会） ① 総会 ②基調講演：地域コミュニテイケアについて	
6 月	前期相談員悉皆研修 医療研修	（ケアマネ部会） 「コミュニケーション力を高め、楽しく豊かに働こう」	介護支援専門員のための福祉用具・住宅改修。基礎講習会
7 月	前期相談員悉皆研修	（全体会） 行方不明者検索について、クラウド説明、研修費についての説明	
8 月	医療研修（特養愛全園のサービスについて）	（ケアマネ部会） 介護支援専門員を取り巻くハラスメント	
9 月		（全大会） メンタルケア～自分も周りも大事にする	竹口病院 ① 高齢者のお食事 ② とろみ茶の作り方
10 月	後期相談員悉皆研修 テレントダイナミクス研修	（ケアマネ部会） お一人様の終末期の支援～死後事務委任の必要性について	
11 月	後期相談員悉皆研修 感染症研修（動画視聴）	（全体会） 昭島市健康課からは社会的 PCR 事業について	南部地域連絡会 地域連絡会の実施報告
12 月	医療研修（中止）	（ケアマネ部会） 「認知症を地域で支える」	昭島市地域包括・家族介護者教室 「これって虐待なの？」～ついやってしまう不適切介護～
1 月			
2 月	研修・研究成果発表会 安全運転研修	（ケアマネ部会） 「ターミナルの利用者を担当する時 ～訪問診療医との連携を学ぶ～」	（竹口病院） ① 地域と共に～レスパイトについて ② 在宅看取りについて
3 月	地域支援課研修（援	（全体会）	

	助者の心のセルフケアについて）	次期介護保険制度改正の方向性と利用者事業所への影響	

※新型コロナウイルス感染拡大防止の状況に応じ、会場とリモートを上手く活用し上記の研修に参加し、研修報告等で事業所内での共通の学びとなった。

≪事業実施状況一覧表≫

・介護件数対照表

	令和３年度介護件数			令和４年度介護件数		
月	実件数	最大件数	稼働率	実件数	最大件数	稼働率
４月	116	135	85.9	64	100	64
５月	115	135	85.1	68	100	68
６月	119	135	88.1	69	100	69
７月	122	135	90.3	67	135	67
８月	116	135	85.9	73	100	73
９月	117	135	86.6	74	100	74
10月	115	135	85.1	73	100	73
11月	118	135	87.4	73	100	73
12月	122	135	90.3	75	100	75
１月	120	135	88.9	75	100	75
２月	98	100	98.0	80	100	80
３月	94	100	94.0	88	100	88
合計	1,372	1,550	88.6	879	1,235	71.2

※最大件数に達した場合、運営基準違反が適用。

※今年度介護の件数は昨年度比80.3%であった。

・予防件数対照表

	令和３年度予防件数			令和４年度予防件数		
月	実件数	最大件数	稼働率	実件数	最大件数	稼働率
４月	27	31	87.0	12	23	52.2
５月	27	31	87.0	13	23	56.5
６月	25	31	80.6	13	23	56.5
７月	26	31	83.6	11	31	47.8
８月	25	31	80.6	12	23	52.1
９月	21	31	67.7	10	23	43.4
10月	21	31	67.7	11	23	47.8
11月	21	31	67.7	14	23	60.8
12月	21	31	67.7	14	23	60.8

1月	21	31	67.7	13	23	56.5
2月	18	23	78.2	15	23	65.2
3月	18	23	78.2	16	23	69.5
合計	271	356	76.1	154	284	54.2

※今年度予防の件数は昨年度比71.2%であった。

・相談件数対照表

	令和3年度相談		令和4年度相談	
月	相談件数	終了件数	相談件数	終了件数
4月	4	3	2	2
5月	2	4	2	0
6月	5	1	4	3
7月	2	0	4	3
8月	0	7	3	1
9月	3	1	2	3
10月	1	1	4	1
11月	1	2	6	2
12月	0	0	2	2
1月	1	4	6	2
2月	0	22	3	1
3月	1	4	3	0
合計	20	49	41	20

※相談件数は昨年度比205%であった。これらは、前年においては職員の退職に伴い、運営基準違反回避のため、外部にケースを移行する事もあったが、今年度は職員の入退職時のケースの引継ぎがスムーズに実施でき、終了件数減となり、年度末に向けて稼働率が上がる事につながっている。
相談内容の内訳としては、地域包括支援センター、他の居宅介護支援事業所、医療機関、地域住民、当法人養護老人ホーム等であった。
終了ケースの内訳としては、特養、老健等の施設入所、入院、死亡であった。

≪事故報告≫
令和4年度は苦情・トラブル件数は3件であったが、事業所変更や事業所内でのケアマネ変更はなかった。トラブルの内容については、車両運転時の縁石への接触、サービス調整の遅延、配食サービス中止の連絡忘れ、家族への説明不足があげられ、信頼関係を損ねる事となった。来年度は、自費サービスについてケアマネの責任の所在の明確化や利用者、家族からの意向をしっかり確認し、相談援助技術の質の向上を行う。

・収入対照表

	令和３年度		令和４年度	
月	介護	予防	介護	予防
４月	1,527,119	125,087	1,600,815	76,896
５月	1,556,322	115,322	1,225,333	57,118
６月	2,058,359	116,894	1,176,020	51,264
７月	2,121,535	111,040	1,157,951	65,662
８月	2,217,196	111,040	1,152,552	39,793
９月	2,005,928	91,201	1,245,644	67,118
10 月	2,026,666	89,420	1,209,114	46,992
11 月	2,103,974	89,420	1,273,132	46,992
12 月	2,155,451	85,440	1,227,855	64,025
１月	2,155,451	85,440	1,237,611	70.639
２月	2,060,688	76,896	1,282,011	51,264
３月	1,523,179	76,896	1,347,959	75,788
合計	23,511,868	1,174,096	15,135,997	713,551
総合計	24,685,964		15,849,548	

※前年と比べ、職員１名が減員しており、稼働率の低下も伴って収入減となった。

≪令和４度ケアマネジャー実習生受け入れ≫

主任介護支援専門員配置しているが、新型コロナウイルス緊急事態宣言や蔓延防止重点措置にて依頼なし。

ヘルパーほほえみ　R４年度　事業報告

・職員数（毎月１日現在）令和４年４月１日～令和５年３月31日

月 職種	令和４年４月～9月		令和４年10月～令和５年３月	
	常用（契約）	非常勤	常用（契約）	非常勤
所　長	１名		１名	
サービス提供責任者	２名		２名	
訪問介護員		８名		８名
事務員兼訪問介護員		２名		２名

常勤のサービス担当責任者が入職し、サービスの幅が広がり現場のフォローについてもきめ細やかに提供できた。訪問介護員は６０代以上のベテランの介護福祉士が多く熟練したサービス提供を行えている。

・新規受付及び終了時の動向（　）追加

		令和２年度	令和３年度	令和４年度
総合	新規	5（1）件	１件	１件
	終了	１件	４件	３件
介護	新規	17（16）件	25(9)件	28(10)件
	終了	19件	18件	12件

新規や追加の利用については、前年より多く順調に伸びている。ただし総合事業の利用者が減っているため、次年度は包括支援センターに、積極的に空き情報の提供を行っていく。

・訪問実績

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	平均
実人員(前年度)	利用者	51 (57)	49 (58)	55 (58)	59 (59)	59 (57)	55 (52)	55 (56)	56 (57)	60 (55)	57 (53)	57 (52)	60 (51)	56.08 (59.41)
	ヘルパー	11 (13)	12 (13)	12 (13)	12 (12)	13 (12)	13 (12)	12 (11)	12 (11)	12 (11)	12 (11)	12 (11)	12 (11)	12.08
訪問回数		536	551	577	573	578	392	566	592	582	461	379	652	6,439
前年度		585	559	592	641	587	518	522	556	561	522	500	540	6,683

一時利用者人数の落ち込みも見られたが、徐々に回復している。利用回数もコロナ感染で中止ということもあったが、目標値に近づく回数に増えている。

・訪問介護延べ活動時間数　　※下記表について時間をｈ、分をｍで表記しています。

	令和２年度		令和３年度		令和４年度	
	介護時間	総合事業時間	介護時間	総合事業時間	介護時間	総合事業時間
４月	380ｈ43ｍ	53ｈ45ｍ	385ｈ26ｍ	36ｈ0ｍ	319ｈ25ｍ	17ｈ05ｍ
５月	378ｈ49ｍ	61ｈ00ｍ	375ｈ49ｍ	36ｈ15ｍ	319ｈ00ｍ	33ｈ45ｍ
６月	373ｈ32ｍ	48ｈ45ｍ	408ｈ08ｍ	45ｈ30ｍ	341ｈ05ｍ	31ｈ25ｍ
７月	407ｈ30ｍ	58ｈ30ｍ	409ｈ57ｍ	48ｈ30ｍ	370ｈ25ｍ	23ｈ10ｍ
８月	400ｈ15ｍ	50ｈ45ｍ	371ｈ14ｍ	45ｈ25ｍ	347ｈ05ｍ	21ｈ45ｍ
９月	403ｈ09ｍ	46ｈ28ｍ	379ｈ19ｍ	37ｈ45ｍ	353ｈ10ｍ	17ｈ25ｍ
１０月	439ｈ43ｍ	51ｈ55ｍ	383ｈ29ｍ	34ｈ15ｍ	337ｈ50ｍ	32ｈ30ｍ
１１月	389ｈ33ｍ	42ｈ15ｍ	383ｈ29ｍ	34ｈ15ｍ	362ｈ00ｍ	28ｈ30ｍ
１２月	381ｈ01ｍ	42ｈ30ｍ	358ｈ11ｍ	41ｈ45ｍ	352ｈ25ｍ	25ｈ00ｍ
１月	369ｈ28ｍ	34ｈ45ｍ	377ｈ43ｍ	35ｈ45ｍ	278ｈ45ｍ	17ｈ30ｍ
２月	334ｈ37ｍ	39ｈ00ｍ	321ｈ33ｍ	34ｈ30ｍ	253ｈ15ｍ	16ｈ00ｍ
３月	359ｈ57ｍ	42ｈ45ｍ	378ｈ09ｍ	39ｈ25ｍ	379ｈ45ｍ	18ｈ00ｍ
計	4,618ｈ17ｍ	572ｈ23ｍ	4,531ｈ58ｍ	469ｈ20ｍ	4,014ｈ20ｍ	282ｈ10ｍ

利用回数が前年度より少ないこと、１件当たりの利用時間が少ないケースが増えているため、時間数の減少がみられる。

・介護度別利用人数（年平均）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度
要支援１	1.5 人	1.1 人	2.1 人
要支援２	9.1 人	7.6 人	3.1 人
要介護１	13.2 人	12.4 人	14.5 人
要介護２	13.5 人	11.6 人	13.4 人
要介護３	9.2 人	10.5 人	13.5 人
要介護４	6.2 人	3.2 人	4.5 人
要介護５	5 人	4 人	4.5 人

利用者は要介護１～3 が多く、独居で在宅生活を維持し続けて行くとこが困難なケースが多く、ショートスティの利用等に伴い、利用回数の増減見られた。

・ＬＳＡ（ライフサポートアドバイザー）高齢者住宅　巡回サービス
火曜日と金曜日、決められた時間に訪問し安否確認をする。
緊急通報システムの管理は総合警備と連携し行う。

シルバーピア上川原	10：30～12：00	15 件
ことぶき住宅	13：00～14：30	10 件
シルバーピア松原	13：00～14：45	19 件
シルバーピア拝島２	13：00～15：00	24 件
シルバーピア拝島	15：00～17：00	24 件

警備との連携・緊急訪問（16 件）や介護相談（6 件）など行った。市や各包括、居宅のケアマネージャーとも連携を図り、迅速な情報共有や対応を行うことが出来た。

・訪問介護員内部・外部研修

4 月 26 日	倫理と法令研修	丸山所長 本多サ責	１１名
5 月 24 日	介護技術研修	法人	１２名
5 月	″あきしま地域福祉ネットワーク全体会″	外部	１名
6 月 15 日	昭島 NST 栄養	外部	１２名
6 月 29 日	コミュニケーション研修	本多サ責	１２名
7 月 27 日	熱中症と食中毒	本多サ責	１２名
9 月 7 日	感染症研修	法人	１３名
9 月 21 日	昭島 NST 歯科研修	外部	１名
10 月 3 日	医療研修	法人	２名
10 月 26 日	KYT 訓練研修	本多サ責	１２名
11 月 30 日	認知症研修	豊泉サ責	１２名
1 月 24 日	認知症研修	外部	１２名
3 月 23 日	あきしま地域福祉ネットワーク全体会	外部	１名
3 月 22 日	昭島 NST 褥瘡	外部	２名
3 月 27 日	″南部地域連絡会高齢者消費生活トラブル″	外部	２名
3 月	安全運転研修	法人	１２名
3 月 28 日	安全運転研修自転車編	本多サ責	１２名

毎月、ヘルパー会議を行うとともに ZOOM や動画を使用し、研修の充実を図った。また、所長から直接コーチングの指導を受ける機会もあり、前向きな捉え方や目標設定、自己をまず労わることを学び日々の業務に活かすことが出来た。次年度はケース会議の充実を図ることとする。

令和４年度南部地域包括支援センター愛全園事業報告

（１）人員配置（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

職　　種	常勤	非常勤
管理者	１名	
三職種（主任CM・社会福祉士・保健師） ※R4.4.1～R4.4.30（保健師が不在のため）	３名 ２名	
プランナー		１名
事務員		１名

（２）南部地域包括支援センター活動報告

・サロン（包括三職種が訪問し、講義）　　・センター便り

3か所	12回

※新型コロナウィルス感染症に伴い、サロン活動が休止

・地域密着型運営推進会議

事業所名	回数	事業所名	回数
グループホーム花物語あきしま	0回	サービスセンター愛全園	2回
グループホームいーまーる	1回	デイサービスみかん	2回
晴れのち笑顔	2回		

※新型コロナウィルスの関係により全て書面会議にて実施

・地域連絡会　1回

実施日	参加人数	内容
9月22日	25名	昭島市の地域課題について
3月27日	40名	高齢者の見守りについて～消費生活トラブルをふせぐために～

・地域ケア会議

実施日	参加人数	事例タイトル
6月2日	9名 11名	①　認知症での外出や入浴拒否のある方の支援について ②　重度介護者二人を支える妻の緊急時の体制や負担軽減について～今後の住宅の方向性はどうしたらよいか～
8月4日	8名 9名	①　認知症のある本人と負担なく暮らすために ②　物忘れが多くなっている単身高齢者の支援について
11月2日	8名 9名	①　認知症があってもその人らしく生活をするには～家族の支えを考える～ ②　1人暮らしの高齢者が在宅で意欲的に生活するには、どのよ

		うに支援していけばいいか
2月2日	9名 7名	① ふさぎ込んで地域との交流の場を持つことができない1人暮らし高齢者の支援について ② 認知症の方を介護する家族の支援について

・介護予防教室（いきいき生活のためのプログラム）

田中町地区3回　（5/12、10/20、3/30）

※5/12、10/20は自治会施設が使用できないため、法人園庭で実施。

・認知症月間の取り組み（昭島市役所・昭島社協・5包括・介護事業所の合同企画）

実施日	内容	参加人数
11/5	巡回シアター	83名
11/20	くじらの学校（学園祭形式イベント）	291名
11/26	認知症市民ひろば	—
11/27	認知症見守り体験	27名
11/1～11/30	昭島で暮らし続けるみんなの笑顔展	—
	認知症サポーター養成講座	30名
12/26	認知症講演会～住みなれたこの街で暮らし続けるために～	79名

・あきしまネットの活動

部会名	回数	内容
幹事会	12回	包括からの情報提供や全体会企画の支援
ケアマネ部会	6回	ケアマネジャーの自己研鑽の研修会（開催・ファシリテーター等の支援）
主任ケアマネ分科会	6回	主任ケアマネジャーの事例検討会や情報提供
ケアマネ世話人会	12回	ケアマネ部会の企画の支援や包括の情報提供
医療部会	4回	病院の地域連携室との情報交換
在宅医療・介護連携構築委員会	4回	昭島市を交えて、国から通知のある在宅医療・介護連携推進事業（ア）～（ク）の支援

・その他の活動

活動	回数	内容
男性介護者教室	12回	男性介護者の方向けに介護の知識などの情報提供や交流会を実施。
家族介護者の会	12回	家族の方が企画した介護者の会に参加し、情報提供などの支援を実施。
認知症支援連絡協議会	12回	認知症月間や認知症についての課題把握や活動を共同で企画する。

昭島ふれあいほっとサロン推進委員会	4 回	サロンの活動報告及び情報交換。
地域ケア会議幹事会	1 回	各包括で把握した個別地域ケア会議ででた地域課題をまとめ、新たな取り組みを検討・提案。
地域ケア会議運営推進会議	2 回	地域ケア会議幹事会で出た提案を議論し、市の活動として取り組みを意見。
見守りネットワーク懇談会	書面開催	高齢者の見守り事業を行っている会社が一堂に集まり、情報交換。
民生委員協議会・高齢者部会	1 回	担当地区の民生委員に自己紹介と情報交換。
いきいき健康フェスティバル	中止	敬老の日に行われる市のイベントに参加し､4 包括で総合相談ブースを担当。
生活支援員養成講座講師	2 回	総合事業の生活援助を担う方が資格取得のために受ける研修の講義。
在宅医療を共に推進していく講演会	1 回	在宅医療・介護連携推進事業の実施項目の１つで、研修会に参加。
看護学生実習受け入れ	中止	看護学生へ地域支援の研修の実施。
ケアプラン点検	1 回	居宅介護支援事業所のケアプランを点検し、作成の一連の流れを確認しながらケアマネの気づきを得るようにしていく。
田中町住宅地域課題の取り組み	6 回	田中団地に住む高齢者の方がより住みやすくするために、新たな社会資源の創設やその仕組みづくりについての検討会。

（３）相談件数

	総合相談	代行申請	予防給付	総合事業	権利擁護	包括的継続的	計	相談者数	療養相談
平成 30 年度	7,129	253	2,312	1,122	760	663	12,239	2,491	—
令和 1 年度	4,082	103	1,768	904	384	378	7,619	2,740	—
令和 2 年度	2,429	70	2,247	646	300	112	5,804	2,429	119
令和 3 年度	3,260	61	1,654	304	624	46	5,949	1,971	114
令和 4 年度	2,391	73	1,132	260	260	83	4,199	2,001	218

※相談者数は微増だが全体の相談数は減少していることから、南部の圏域では困りごとが比較的少ない、もしくは、ご利用者自身で手を借りず暮らしていることが考えられる。今後は包括としてアウトリーチ機能を活かして関わっていく必要がある。ただ、病院からこれまでよりも多く相談が寄せられており、退院支援のためのカンファレンスに参加依頼が多くあった。これは病院側の包括活用の認識が周知されつつあることと思われる。同様に相談者

で昨年度に比べて多くなったのが、警察関係者からも増えていた。徐々にではあるが医療や公的機関に認識されつつある状況である。

（４）プラン件数

月	介護予防		総合事業			合計
	直	委託	直	事業対象	委託	
４	26	68	15	0	32	141
５	27	70	14	0	33	144
６	27	69	13	0	35	144
７	26	70	14	0	34	144
８	25	66	14	0	32	137
９	25	67	14	0	32	138
１０	25	64	13	0	34	136
１１	26	67	13	0	33	139
１２	26	68	12	0	28	134
１	25	69	13	0	28	135
２	24	70	12	0	29	135
３	22	74	12	0	33	141
合計	304	822	159	0	383	1,668

※プランの件数は前年度と比較して 22 件減である。年間通して新規が介護予防 39 件、総合事業 12 件あり、非該当や要介護に移行された方、認定を受けてもサービスを利用されない方が多い年であったと思われる。サービスの内容では、通所系サービスや福祉用具貸与が最も多く、次いでヘルパーの利用であった。

（５）研修報告

①外部研修

研修名	参加日	主催	参加者
タレントカウンセラー研修	7 月 14 日・28 日	一般社団法人 日本適正力学協会	和田
令和 4 年度 東京都介護支援専門員 更新研修	4/28,5/13,5/20 5/27,5/31/,6/16	公益財団法人 東京都福祉保健財団	奥
令和 4 年度 安全運転全体会議	9 月 11 日	一般財団法人 東京都交通安全協会	和田
令和 4 年度	11 月 30 日	一般財団法人	和田

安全運転管理者研修		東京都交通安全協会	
令和4年度 区市町村介護予防事業 担当者向け研修	11月17日 ～12月15日 の5日間	東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター	和田

②内部研修

研修名	日　　付	対象者
相談員医療研修	四半期に1回	全員
第1回相談員悉皆研修	6月16日、11月17日	全員
第2回相談員悉皆研修	7月7日、10月5日	全員
TALENT DYNAMICS研修	10月21日	全員
管理職研修	10月25日	和田
安全運転研修	2月28日	運転者
年度末成果発表会	3月24日	全員
援助者のこころの セルフケアについて研修	3月23日	全員

③研修講師

研修名	研修区分	講師名
介護職員初任者研修	内部	和田
安全運転研修	内部	和田
生活支援員養成研修	外部	和田
認知症サポーター養成講座	外部	和田・鈴木・中野

※コロナ禍のため、ほとんどがアーカイブ研修であった。内部研修では、研修動画を録画し、それを参加できなかったスタッフが後日視聴し、アンケート報告する仕組みとなった。GoogleFormsの活用が増え、簡単に回答や集計が可能となった。

令和４年度西部地域包括支援センター愛全園事業報告

（１）人員配置（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

職　　種	常勤	非常勤
管理者	１名	
三職種（主任CM・社会福祉士・保健師）	２名	１名
プランナー	０名	
事務員		１名

（２）西部地域包括支援センター活動報告

・サロン（包括三職種が訪問し、講義）　　・センター便り

講義：アイさんの広場、拝島町サロン、もりのうえサロン（３か所） 参加のみ：オレンジドア	４回

※新型コロナウィルス感染症に伴い、一部のサロンのみ参加

・地域密着型運営推進会議

事業所名	回数	事業所名	回数
スマイルケア昭和の森	２回	ふそうケアセンター昭島	１回
デイサービスりんご、みかん	２回	晴れのち元気	１回
和み苑デイサービス拝島	２回	グループホームやまぶきの苑	１回

※令和５年３月にふそうケアセンター昭島は参集形式で実施したが、それ以外の事業所については新型コロナウィルスの関係により書面会議にて実施

・地域連絡会　２回

実施日	参加人数	内容
9/26 3/13	42名 27名	昭島市の地域課題について 高齢者ドライバーの運転について ～周囲の関係者が注意していくこと～

・地域ケア会議　※12月より２会場開催で２事例を実施

実施日	参加人数	事例タイトル
５月11日	９名 13名	①　認知症疑いのある高齢者の活動の場～地域の高齢者の活動を支えるには～ ②　認知症により買い物の仕方や移動に課題のある高齢者の支援～家族の協力が得られない方を地域で支えるためにできること～
９月７日	11名 12名	①　腰痛を訴え骨折を繰り返す単身高齢者 ～在宅生活を支えるためにできること～ ②　運動や活動に前向きになれず在宅で過ごしている高齢男性 ～どのような支援をしていけば自信を取り戻し意欲的に在宅生活を送れるか?～
12月７日	11名	①　腸閉塞による入退院を繰り返す単身高齢者 ～在宅生活を支えるためにできること～

	10 名	② 体調面や在宅酸素機器管理に不安を感じながら在宅生活を送る女性高齢者～どのような支援をしていけば安心して在宅生活を送れるか?～
3 月 1 日	9 名 10 名	① 加齢に伴い生活に不具合を感じ始めた一人暮らしの方 ～楽しみながら自立した生活をつづけるためにできること～ ② 独居の男性高齢者がより良く在宅生活を送るためには ～趣味や楽しみにつなげる支援とは～

・介護予防教室（いきいき生活のためのプログラム）

拝島町、緑町地区 0 回

※新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から会館の使用が出来ず中止となる。

・認知症月間の取り組み（昭島市役所・昭島社協・5 包括・介護事業所の合同企画）

実施日	内容	参加人数
11/5	巡回シアター	83 名
11/20	くじらの学校（学園祭形式イベント）	291 名
11/26	認知症市民ひろば	—
11/27	認知症見守り体験	27 名
11/1～11/30	昭島で暮らし続けるみんなの笑顔展	—
	認知症サポーター養成講座	30 名
12/26	認知症講演会～住みなれたこの街で暮らし続けるために～	79 名

・あきしまネットの活動

部会名	回数	内容
幹事会	12 回	包括からの情報提供や全体会企画の支援
ケアマネ部会	6 回	ケアマネジャーの自己研鑽の研修会（開催・ファシリテーター等の支援）
主任ケアマネ分科会	6 回	主任ケアマネジャーの事例検討会や情報提供
ケアマネ世話人会	12 回	ケアマネ部会の企画の支援や包括の情報提供
医療部会	4 回	病院の地域連携室との情報交換
在宅医療・介護連携構築委員会	4 回	昭島市を交えて、国から通知のある在宅医療・介護連携推進事業（ア）～（ク）の支援

・その他の活動

活動	回数	内容
障碍者相談支援部会	11 回	障害者自立支援法の事業所の相談員と共に情報交換及び事例検討を実施。
男性介護者教室	12 回	男性介護者の方向けに介護の知識などの情報提供や交流会を実施。
家族介護者の会	12 回	家族の方が企画した介護者の会に参加し、情報提供などの支援を実施。
認知症支援連絡協議会	12 回	認知症月間や認知症についての課題把握や活動を共同で企画する。
昭島ふれあいほっとサロン推進委員会	4 回	サロンの活動報告及び情報交換。
地域ケア会議幹事会	1 回	各包括で把握した個別地域ケア会議ででた地域課題をまとめ、新たな取り組みを検討・提案。
地域ケア会議運営推進会議	2 回	地域ケア会議幹事会で出た提案を議論し、市の活動として取り組みを意見。

見守りネットワーク懇談会	書面開催	高齢者の見守り事業を行っている会社が一堂に集まり、情報交換。
民生委員協議会・高齢者部会	１回	担当地区の民生委員に自己紹介と情報交換。
いきいき健康フェスティバル	中止	敬老の日に行われる市のイベントに参加し､4 包括で総合相談ブースを担当。
松原町団地自治会にて介護保険について講話	１回	介護保険はどのような制度なのか、どのような介護サービスを利用できるのか講義する。
看護学生実習受け入れ	中止	看護学生へ地域支援の研修の実施。
ケアプラン点検	１回	居宅介護支援事業所のケアプランを点検し、作成の一連の流れを確認しながらケアマネの気づきを得るようにしていく。
拝島団地の住民主体の取り組みについて（ゴミの問題）	７回	拝島団地の住民間で起こっているゴミ出しの問題を市役所、社協、包括、自治会で意見交換し継続可能なゴミ出しのシステムの検討会。
イトーヨーカドー拝島店 栄養講座	４回	一般市民向け食育講座

（３）相談件数

	総合相談	代行申請	予防給付	総合事業	権利擁護	包括的継続的	計	相談者数	療養相談
令和 2 年度	1,304	61	456	632	228	55	2,736	1,396	114
令和 3 年度	2,392	61	648	389	336	64	3,890	1,924	136
令和 4 年度	2,354	63	279	204	168	120	3,188	1,566	219

※令和 4 年 7 月に拝島町高齢者福祉センターの大規模工事の終了に伴い松原町の仮事務所から戻る形となった。事務所スペースが施設利用者の目につきやすいスペースに変更したことにより、相談者が気軽にセンターに立ち寄るようになった。相談者数は減少しているものの、来所数は昨年度より多くみられる結果となった。相談件数は昨年度と大きく変化はないが、事業所や病院関係者からの相談が増えており、福祉・医療・警察関係者の認知度は高まった結果となった。

（４）プラン件数

月	介護予防		総合事業			合計
	直	委託	直	事業対象者	委託	
４	25	110	11	0	60	206
５	24	108	10	0	63	205
６	23	109	12	0	60	204
７	21	112	13	0	61	207
８	21	103	13	0	64	201
９	25	104	13	0	58	200
１０	26	103	16	0	59	204
１１	27	103	16	0	62	208
１２	28	104	15	0	61	208
１	26	103	15	0	61	205
２	31	101	15	0	64	211

3	31	102	15	0	63	211
合計	308	1,262	164	0	736	2,470

※プランの件数は前年度と比較して 9 件増である。年間通して新規が介護予防 42 件、総合事業 39 件あり、非該当や要介護に移行された方、認定を受けてもサービスを利用されない方が若干多い年であったと思われる。サービスの内容では福祉用具貸与や通所系サービスが最も多く、次いでヘルパーの利用であった。

（５）研修報告

①外部研修

研修名	参加日	主催	参加者
令和 4 年度介護連携協議会	8 月 31 日	北多摩西部医療圏　認知症疾患医療センター	湯本
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	12 月 6 日 12 月 13 日 12 月 19 日 12 月 23 日	東京都福祉保健財団	佐々木
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	11 月 15 日 11 月 24 日 12 月 1 日 12 月 8 日	東京都福祉保健財団	堀江
令和 4 年度精神保健福祉学習会	3 月 9 日	昭島市障害福祉課障害福祉係	湯本

②内部研修

研修名	日　　付	対象者
相談員医療研修	四半期に 1 回	全員
第 1 回相談員悉皆研修	6 月 16 日、11 月 17 日	佐々木・堀江
第 2 回相談員悉皆研修	7 月 7 日、10 月 5 日	湯本・堀江
TALENT DYNAMICS 研修	10 月 21 日	全員
年度末成果発表会	3 月 24 日	全員
安全運転研修	2 月 28 日	運転者
援助者のこころのセルフケアについて研修	3 月 23 日	全員

③ 研修講師

研修名	研修区分	講師名
介護職員初任者研修	内部	湯本
認知症サポーター養成講座	外部	佐々木・湯本
援助者のこころのセルフケアについての研修	内部	湯本

※コロナ禍のため、ほとんどがアーカイブ研修であった。内部研修では、研修動画を録画し、それを参加できなかったスタッフが後日視聴し、アンケート報告する仕組みとなった。GoogleForms の活用が増え、簡単に回答や集計が可能となった。

令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

栄養課

訪問給食　ふれあい食事サービス

【栄養課】

１　食事形態別の変化

愛全園と偕生園の食事形態は以下のとおりである。

愛全園の食形態は、多い順に凍結含浸食は 44%、普通食（一口大含む）22%、手作り流動食（ミキサー）12%、流動食 13%、経管栄養 9%、であった。

【愛全園における食事形態別喫食割合】

	R5 年 3 月	R4 年 3 月	R3 年 3 月	R2 年 3 月	H31 年 3 月
普通食	22	24	21	26	30
含浸食	44	41	49	52	42
手作り 流動食	12	16	13	9	10
流動食	13	10	8	5	10
経管栄養	9	9	9	8	8
合計(%)	100	100	100	100	100

偕生園は、前年度同様、普通食（一口大含む）で 9 割を超えているが、凍結含浸食は 4%から７%とわずかに増加している。

【偕生園における食事形態別喫食割合】

	R5 年 3 月	R4 年 3 月	R3 年 3 月	R2 年 3 月	H31 年 3 月
普通食	91	95.3	95	95	99
含浸食	7	4	3.5	5	1
手作り 流動食	2	0.7	1.5	0	0
合計（%）	100	100	100	100	100

２　食材料費比較

食材料費の高騰が著しく、全事業所の食事において平均単価の高騰が見られた。
前年度と比較して平均単価は、偕生園は 649 円から 720 円と 71 円の高騰、愛全園は 826 円から 886 円と 60 円の高騰、ｾﾝﾀｰ(通所)は 382 円から 396 円と 14 円の高騰、ふれあいは 265 円から 326 円と 61 円の高騰となった。

令和4年度食材料費													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
偕生園(1日)	783	737	688	748	792	809	646	681	747	616	690	698	720
愛全園(1日)	952	825	802	918	854	932	802	885	1042	786	944	896	886
センター(1食)	426	434	367	445	429	397	358	367	377	385	393	375	396
ふれあい(1食)	319	295	310	345	318	319	325	299	322	349	338	377	326

令和3年度食材料費													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
偕生園(1日)	674	595	614	634	663	657	588	560	713	614	718	755	649
愛全園(1日)	890	747	836	881	781	878	784	810	921	708	819	852	826
センター(1食)	371	348	351	373	409	402	356	371	373	346	422	458	382
ふれあい(1食)	309	282	243	249	258	257	238	274	260	255	269	283	265

３　食事改善・試みについて

- 献立内容
  　朝礼時、検食簿に記入された評価や意見を職員間で共有し、ラウンド情報の共有を行い、随時献立内容の見直しを行った。また、第三者評価で寄せられたご利用者の食事に対する意見について、提供方法・献立内容を検討し改善を図った。
  　献立を調理師・栄養士・管理栄養士・施設長で共有し、栄養課全体で献立の見直しを実施した。
  　食材は、新鮮な生野菜を使用し旬を意識している。契約農家より昭島産の野菜も取り入れ地産地消に取り組んだ。また、食品添加物、農薬に配慮した食材の選定を行っている。小麦粉は米粉へ移行した。
  　郷土料理を献立に取り入れ提供した。食事前にポスターにて郷土料理の紹介、介護課と協力して提供する郷土料理の土地の民謡を流すなど、より楽しんでいただけるよう工夫した。継続することで回想法や利用者と職員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの活性につながっている。
- 朝食の乳製品固定献立の廃止
  朝食の献立に固定で提供していた乳製品を中止し、給食材料費高騰への対応と献立全体の品質保持に努めた。
- 献立表の送付
  愛全園のご利用者家族へのお手紙発送時に献立表を同封し「まごわやさしいこ」や郷土料理など献立のこだわりをお伝えするようにしている。
- キャベツ千切り専用スライサーの導入

キャベツの千切りにおいて食べづらいというご利用者の声があり、より細く美味しく召し上がって頂けるよう、専用スライサーを導入した。導入後ご利用者・職員からの食べづらさなどの声がなくなっている。

- スチームコンベクションオーブン調理の推進
  これまで提供料理の仕上がりを均一化させるため、スチームコンベクションオーブン（以下スチコン）による調理の推進を図ってきた。本年度は、スチコン調理・クックチル調理を担当できる人材を増やし、技術の均一化・シフトの効率化を図るため、「スチコン調理・クックチル調理検定」の実施に取り組んだ。
  検定基準、評価項目を明確化することにより指導する側も指導を受ける側も効率よく取り組むことができた。教育スケジュールを組み、定期的に検定を実施することで 3 名合格し、担当シフトに入れるようになった。

- クックチル調理の導入による効率化
  これまで調理担当業務として、宅配担当、早番調理、遅番調理の 3 シフトで稼働していたが、クックチル化の第一段階として宅配弁当の調理を従来のクックサーブ調理からクックチル調理へ移行した(令和 4 年 1 月～)。毎日配置していた宅配担当調理シフトが、週二回の配置で稼働できるようになったため、人員の削減につながっている。
  令和四年度においては、宅配におけるクックチル調理の定着に取り組んだ。クックチル調理導入に伴い、スチコンとブラストチラー(急速冷却器)を 1 台ずつ増設し、動線の整理と作業効率が改善された。
- 厨房内改修工事（令和四年 6 月）
  クックチル調理導入に伴うスチコン、ブラストチラーの増設に伴う電源工事、老朽のみられたシンク 2 カ所の交換、現在使用頻度の低いコンロとシンク部分を作業台へと改造、真空調理機の配置移動、洗浄室床の改修について実施した。

- コロナウイルス感染症拡大時の対応
  令和 4 年 9 月、令和 5 年 1 月から 2 月にかけてコロナウイルス感染症対応にて、食事配膳時ディスポ食器(ふれあいで使用中の弁当容器)を使用して提供を行った。施設の状況に応じてその都度、献立内容を一部変更するなど配膳から下膳が滞りなく実施されるよう動線を調整し、BCP として記録した。またミールラウンドが行えない際は放送にてメニューの紹介を行い、ご利用者のケアに繋げた。

- お茶ゼリーの提供
  水分補給において、認知症や嚥下機能の状況によってはゼリーの形態にすることで摂取しやすいご利用者がいるとの提案が施設職員よりあり提供を開始している。

- 衛生管理計画の作成
  HACCP チームを中心に衛生管理作業マニュアルの作成・更新を行った。

- ATP ふき取り検査を実施し、結果と改善点について周知し意識の向上を図った。
  （月 1 回、栄養課内 5 カ所実施）

４　行事食・食の演出　等

＜年間行事食＞
行事食提供時、愛全園・デイには行事カードを添え、偕生園ではポスター掲示を行った。

令和４年	
４月	観桜会（甘酒・手作りお弁当）
５月	端午の節句（太巻き寿司・稲荷寿司）
６月	愛全園開園記念日（愛全園お赤飯、若鶏と大根の蒸しｽｰﾌﾟ、舌平目の海鮮巻きﾑﾆｴﾙ風、京湯葉ずんだのせ、合鴨ｽﾓｰｸと彩野菜の黒ｺｼｮｳﾏﾘﾈ、紫陽花水羊羹）
７月	七夕（三色そうめん） 土用の丑の日メニュー（うなぎ蒲焼）
８月	夏祭りｲﾍﾞﾝﾄ（愛全園おやつｲﾍﾞﾝﾄ） 焼きそば、ﾁｮｺﾊﾞﾅﾅ、ｱｲｽ等のﾊﾞｲｷﾝｸﾞ
９月	長寿祭（お赤飯、手毬麩の清まし、鮮真鯛の柚庵焼き、飛龍頭の生姜仕立て、五色野菜焼浸し、ﾌﾟﾘﾝｱﾗﾓｰﾄﾞ）
12月	クリスマスメニュー、おやつｲﾍﾞﾝﾄ（ｹｰｷﾊﾞｲｷﾝｸﾞ）
令和５年	
１月	正月（おせち）、七草粥
２月	節分（太巻き）
３月	ひな祭り（桜寿司）、春分の日（おはぎ）、 偕生園開園記念日（寿司ﾊﾟｰﾃｨｰ）

- 誕生祝い献立…毎月15日前後に実施しており、お刺身盛り合わせ（10月～3月）、銀だら照り焼、エビフライ等の提供を行った。
- 愛全園食（看取り対応食）…栄養士を中心に、愛全園食（看取り食）対応、個別対応を行った。愛全園食は、ご本人のお好きなものやご家族の意向を取り入れ、多職種で協力して対応を実施した（お寿司・果物・お汁粉・おでん・ラーメン等）、漬物
- センター　おやつの会（ｸﾚｰﾌﾟ作り・ﾊﾟﾌｪ作り等）

  5月、10月、12月、3月　実施

５　利用者との関わり

＜栄養課だより＞

愛友誌、センターだよりに「栄養課だより」として記事を作成し、栄養課の取り組みや季節のトピックスについて発信した。

愛友誌：1回／月

＜愛友会・茶話会・栄養教室＞

各事業所における利用者の会へ栄養士が参加し、栄養課からのお知らせや、食事・栄養情報について発信した。また、利用者からの意見や要望について聞き取りを行った。

愛友会（愛全園）：6月、9月、12月、3月　参加

茶話会（偕生園）：毎月参加

栄養講話(センター)：適時「食事と栄養について」のテーマで栄養士が開催

＜ミールラウンド・栄養相談等＞

昼食時に管理栄養士・栄養士・調理師によるラウンドを毎日実施した。ラウンドで得られた情報は、栄養課内、多職種間で共有しケアの質向上につなげ、対応した。利用者で感染症罹患者がいる場合は、その利用者のいるフロアのラウンドを中止した。

＜愛全園＞

全利用者に対しへ栄養マネジメントを実施した。多職種での取り組みとして愛全園NST(Nutrition Support Team)、多職種会議(経口維持・移行加算算定要件)を実施し、ケアの質の向上に努めた。栄養スクリーニングツールとして MNA-SF(Mini Nutritional Assessment-Short Form)を導入した。

食形態の変更等については、医師によるビデオ内視鏡や多職種での食事状況の観察結果などの客観的評価を取り入れ、多職種で情報を共有した上で行った。

- 愛全園NST：1回/週　水曜11時～
  (令和四年12月～人員配置状況により隔週実施にて対応)
  実施回数：36回（R4年4/1～R5年3/31）
  延べ介入件数：72件（前年度119件）
  (件数内訳：経過観察40件、新入所25件、看取りｹｱｶﾝﾌｧ3件、ﾃﾞｽｶﾝﾌｧﾚﾝｽ4件)
- 多職種会議：2～3回/月　火曜日15：00～
  実施回数：26回（R4年4/1～R3年3/31）

＜偕生園＞

栄養スクリーニングを実施し、低栄養リスクのある利用者への栄養ケアを実施した。ミールラウンドを通して利用者の嗜好や要望の聞き取り、食事摂取状況の把握を行った。また、利用者・職員からの食事・栄養に関する相談に対し個別に対応した。

＜サービスセンター愛全園＞

昼食時にラウンドし、個々の食事摂取量や好みを聞き取り個別対応に反映させた。スクリーニングツールとして MNA を導入し、多職種での情報共有・栄養ケアの質の向上に努めた。また栄養スクリーニング加算算定に取り組み、必要時栄養改善サービスを実施した。

６　加算取得状況

・経口維持加算(500単位/月)

加算者人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
84	85	84	85	88	89	85	86	87	85	82	74	85

年間取得単位：1014×500＝507,000単位

・経口移行加算(28単位/日)

加算者人数(月末時点)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
6	6	6	6	6	6	7	7	7	5	5	4	5.9

・療養食加算者(6 単位/食)
加算者平均人数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
32	32	29	27	27	27	27	26	26	26	25	20	27

・栄養アセスメント加算　(50 単位/月)
通所 710 件・総合事業 214 件・認知 786 件

・栄養スクリーニング加算　(5 単位/回)…半年に 1 回取得
通所 109 件・総合事業 35 件・認知 107 件

7　会議等

・職員会議　　月 1 回実施
・リーダーミーティング　随時実施
・栄養士ミーティング　月 1 回実施

8　研修・研究関連

＜校外実習・研修の受け入れ＞

・十文字学園女子大学　臨地実習（給食管理）

令和 4 年 8 月 1 日（月）～令和 4 年 8 月 5 日（金）　1 名

＜外部研修・学会発表等＞

令和 4 年 9 月 1 日	昭島 NST 発表 通所における栄養管理と加算について	中野　もも
令和 4 年 11 月 20 日	臨床栄養師研修認定講座 症例検討と発表（居宅療養管理指導）	佐藤　悦子 中野　もも
令和 4 年 11 月 20 日	初任者研修講師 「食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護」	齋藤　綾乃

・研究協力
厚生労働省令和４年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)
「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組に関する調査研究事業」におけるインタビュー調査協力

・取材協力
月刊ケアマネジメント　3 月号　P.46　QOL 向上を目指す食支援レポート「軽度から看取りまで、段階に応じて食・栄養面を支援」

＜課内研修＞

・感染症研修　食中毒発生状況と事例紹介　動画視聴と確認テストの実施（12 月）

令和４年度　ふれあい食事サービス　事業実績報告書

(1)職種別職員状況

栄養士　　１名（令和４年７月以降担当者退職のため不在、法人内にて兼務）

配送員　　11 名

(2)令和４年度の取り組み

下記内容について重点的に取り組みを行った

・施設の食事サービスのノウハウをいかした高齢者への食事支援

・凍結含浸食の提供・周知

・「おかずのみ」を選べるようにし、より利用者ニーズに沿ったサービス提供を行った。

・地元野菜や旬の食材、行事食の提供

・利用者の不安と疑問の解消に努めた栄養士による栄養相談の充実

・在宅支援の拡大が図れるよう関係機関へのＰＲの強化

・クックチル調理の導入による作業の平準化と効率化

・食材料費の高騰、燃料・光熱費の高騰により次年度からの値上げについて検討・決定・周知した。

・お弁当容器を回収容器と使い捨てプラスチック容器をご利用者のニーズによって併用し対応した。

・利用食数台帳において、紙であった情報を Excel データ化することにより、請求業務にかかる時間の短縮につながった。

・再配達の件数を極力抑えることにより、食数の増加に対応した。

・配送車両をﾘｰｽへ切り替えを行うことにより、新しくきれいな車両でお届けすることができた。また全車両に事業名と電話番号、食材へのこだわりについての文章をペイント表記することで車を見ての問い合わせ件数が増加した。

(3) 新規件数

令和2年度(令和元年4月～令和2年3月)

新規件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協	6	8	9	5	11	17	13	5	8	6	10	16	114	10
一般	4	3	9	9	11	14	9	7	6	7	10	12	101	8

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)

新規件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協	8	5	4	3	4	5	4	5	3	5	1	4	51	4
一般	15	9	5	5	7	8	6	7	11	9	6	7	95	8

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)

新規件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協	5	6	5	5	4	2	5	4	2	3	2	0	43	4
一般	9	7	13	14	9	9	9	7	2	3	7	9	98	8

新規受付件数として、令和 4 年度は社協で 43 件の依頼、一般では 98 件の依頼を受け対応した。令和 3 年度との比較において月ごとの平均受け入れ件数は同数であった。

(4)食数実績

合計食数において令和 3 年度 50,788 食に対し、令和 4 年度 51,572 食と 784 食の増加であった。その内訳変動は社協食数で 362 食の増加、昼食一般で 749 食の低下、夕食一般で 1,171 食の増加であった。

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協食数　700円	1,248	1,109	1,380	1,274	1,394	1,333	1,466	1,362	1,454	1,314	1,226	1,411	15,971	1,331
昼食一般食数　650円	1,188	1,371	1,272	1,471	1,228	1,421	1,432	1,491	1,412	1,226	1,268	1,294	16,074	1,340
夕食一般食数　750円	1,563	1,556	1,603	1,542	1,484	1,581	1,617	1,614	1,521	1,418	1,498	1,746	18,743	1,562
合計食数	3,999	4,036	4,255	4,287	4,106	4,335	4,515	4,467	4,387	3,958	3,992	4,451	50,788	4,232
職員弁当　200円 (4月のみ400円で販売)	359	280	647	749	710	765	720	829	826	706	660	729	7,980	665
おせち　1000円									63				63	63

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協食数　700円	1309	1,273	1,525	1,370	1,550	1,381	1,410	1,382	1,340	1,263	1,185	1,345	16,333	1,361
昼食一般食数　650円	1,246	1,265	1,179	1,266	1,378	1,321	1,337	1,349	1,323	1,195	1,156	1,310	15,325	1,277
夕食一般食数　750円	1,536	1,539	1,573	1,596	1,803	1,817	1,810	1,860	1,817	1,601	1,610	1,352	19,914	1,660
合計食数	4,091	4,077	4,277	4,232	4,731	4,519	4,557	4,591	4,480	4,059	3,951	4,007	51,572	4,298
職員弁当　200円	763	900	804	782	958	1048	1039	1015	1027	983	795	1,041	11,155	930
おせち　1100円									67				67	67

※社協ご利用者負担金額：400 円

※おかずのみ(－50 円)の方の食数も含む

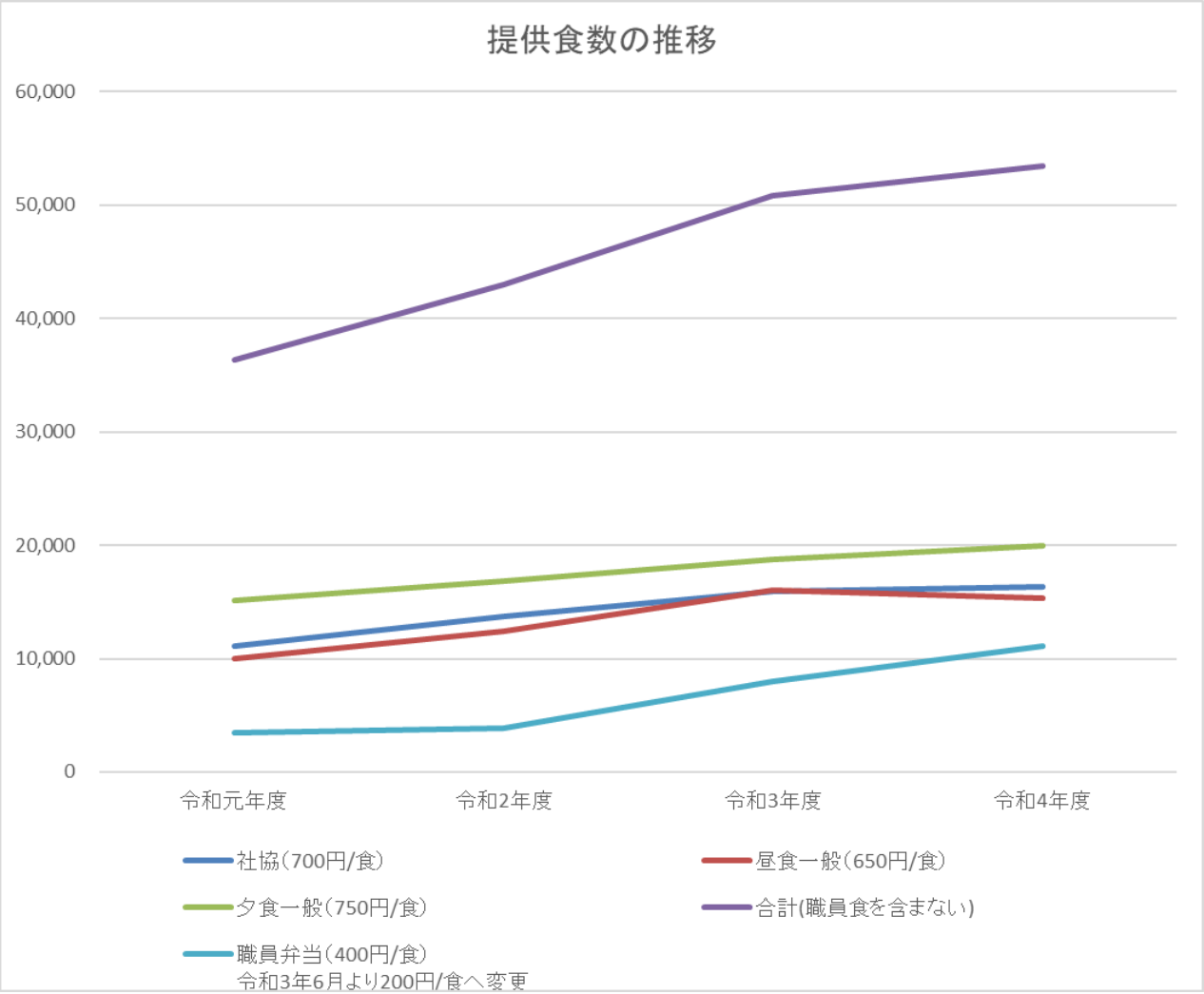
※職員弁当の価格を 400 円から 200 円へ変更(令和 3 年 6 月開始)

※食材料費高騰によりおせちの価格を 1,000 円から 1,100 円へ変更

（５）年間食数の推移

食数は過去 4 年比較において連続して増加となった。

年間食数比較				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社協（700円/食）	11,124	13,730	15,971	16,333
昼食一般（650円/食）	10,041	12,397	16,074	15,325
夕食一般（750円/食）	15,169	16,865	18,743	19,914
合計	36,334	42,992	50,788	51,572
職員弁当（400円/食） 令和3年6月より200円/食へ変更	3,456	3,855	7,980	11,155



令和４年度

事　業　報　告　書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

医務課・愛全診療所

＜　医務課　＞

（１）会議、研修等

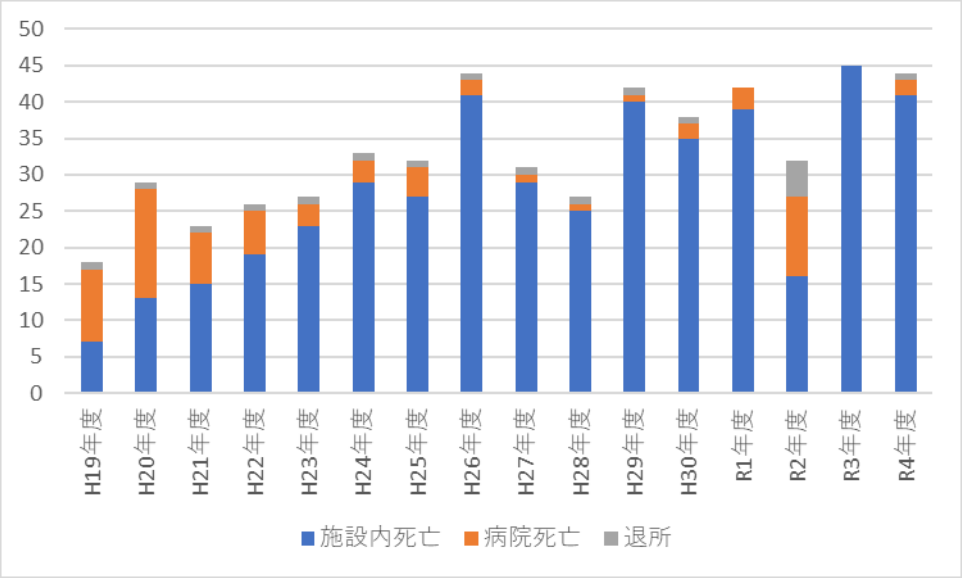
ケース会議　（2 回／月）
介護医務連絡会議　（1 回／月）
看取りカンファレンス　（適宜）
デスカンファレンス　（適宜）
医療（看取り含む）研修：介護職員向け（蓮村友による）
（隔週木曜日 14 時～15 時間）

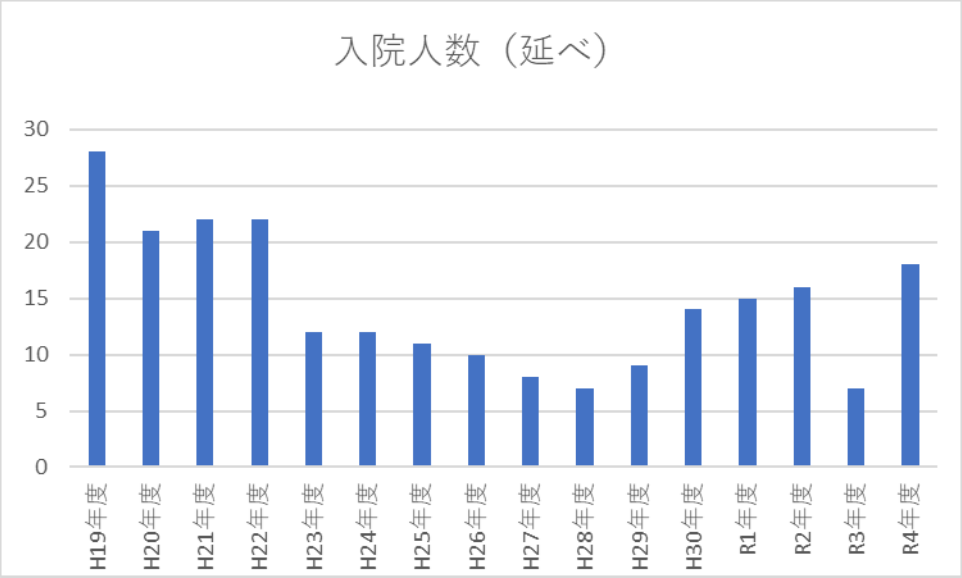
（２）　感染症対策

①　新型コロナウイルス：愛全園：集団 83 名・偕生園：集団 44 名
②　インフルエンザ感染症：愛全園：集団 2 名・偕生園：集団 0 名。
③　感染性胃腸炎：単発・集団とも発症なし
④　結核：新規発症なし
⑤　疥癬：発症なし

（３）　看取り医療等

愛全園　永眠 41（前年 35）名
施設内死亡：41 名（老衰 25 名、肺炎 6 名、多臓器不全 2 名、脳梗塞 2 名
子宮がん 2 名、肺癌 1 名、胃癌 1 名、肺血症 2 名施設内死亡率 95%（前年 100%）
入院先での死亡：2（前年 0）名　入院死亡率 5%（前年 0%）
入院件数 18 件（前年 7 件）：肺炎 1 件、胃瘻造設 1 件、肺癌 1 件、ステント交換 2 件、COVID-19 肺炎 4 件、血流不全 2 件、右下腿仮性動脈瘤 1 件、慢性心不全 1 件、脱臼 2 件、消化管出血 1 件、呼吸困難 1 件、痙攣発作 1 件）
平均入院日数日間 17.5 日/人（前年度 3.91 日間）
入院延べ日数　315 日（前年度 92 日）
入院先：東京西徳洲会病院・目白第二病院・立川共済病院・立川相互病院





偕生園　　永眠　12 名（前年 15 名）施設内死亡率 92%（前年 67%）

入院先での死亡:1 名（前年 8 名）　入院死亡率 8%（前年 33%）

施設内死亡：12 名（老衰 4 名、急性心筋梗塞 1 名、脳出血 1 名、肺炎 2 名

頬粘膜癌 1 名、転移性肝癌 1 名、肺癌 1 名、COVID-19 肺炎 1 名）

(4) 精神科医療

精神科非常勤医師による定期的（２日/月）な精神疾患患者の診察の実施。

全入所者につき定期的にカルテ診を施行し、認知症周辺症状への対応や器質的精神障害のルールアウトを実施。夜間不眠や不穏等については、漢方薬を中心に少量の抗精神病薬や睡眠導入剤を使用したコントロールとし、認知症病棟への入院を必要とした方は今年度 0 件（前年 0 件）。

(5)　褥瘡対策

ＮＳＴで対応とし、延べ３１件の介入を行った。ＯＷＤＴ（ラップ）改変療法によりいずれも軽快・治療済み。

(6)　経管栄養

新たに 1 名の胃瘻造設済みの方が新規入所となった。計 12 名の経管栄養の方をフォロー（バンパーボタン型 4 例・バルーンボタン型 8 例）＊胃瘻患者の受け入れについては、医療行為である接続処置（当施設は現状で全例看護師が施行）等管理上の問題から現状では 12 名程度が限界の状況。12 名中 5 名の方に嚥下内視鏡検査などによる嚥下評価の介入を行い経口移行加算を算定した。

(7)　大量皮下注療法（Hypodermoclysis）

今年度特養入所者 65 人（看取りを含む）に対して 500ｍｌ～1500ｍｌの大量皮下注療法を行った。また肺炎・尿路感染症などの感染症に対して外来におけるセフトリアソン等による抗菌剤点滴療法（OPAT:outpatient parenteral antimicrobial therapy）を施行した。

(8)　超細径内視鏡による施設内胃瘻交換

Ｈ25 年 8 月よりルチーン業務として開始

今年度計 12 名の胃瘻造設利用者（バンパーボタン型 4 例・バルーンボタン型 8 例）に対して超細径内視鏡を用いた胃瘻交換を１回/週２～３人のペースで延べ 82 回施行（前年度 100 回）。

(9)　ビデオ内視鏡

同意のとれた利用者　計 45 名に計 44 回実施。嚥下機能低下のある入所者約 44 名に対して経口維持加算Ⅰ・II を算定した。

(10)　**歯科医療**

歯科医師3名・歯科衛生士6名による訪問歯科診療、衛生指導の施行。

現在、109名の方に歯科治療、口腔ケアを施行。又歯科医・歯科衛生士による「口腔ケアに係る技術的助言及び指導」・「入所者の口腔ケア・マネジメントに係る計画」を策定し口腔機能維持管理体制加算を算定した。

(11)　**ワクチン接種**

今年度もインフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの接種率：100%達成した。

【愛全診療所】

会議、研修等

診療所カンファレンス（1 回／月）
診療所研修会（3～4 回／月・毎火曜日 12 時半～13 時）
NST（Nutrition Support Team） 回診
（愛全園:1 回/週・水曜１１時～）

医療・事務研修会

令和 4 年 6 月 7 日（火）	愛全診療所 個人情報保護法	村田裕美 石渡よし子
令和 4 年 11 月 29 日（火）	愛全診療所 医療安全対策	村田裕美 石渡よし子

R4 年度医務課勉強会 実施状況

実施日	テーマ	参加人数
4 月 5 日	再生不良貧血	18 名
4 月 12 日	気管支喘息:ﾌﾙﾃｨﾌｫｰﾑ	18 名
4 月 19 日	心不全:ｼﾞｬﾃﾞｲｱﾝｽ	19 名
4 月 26 日	高尿酸血症・痛風	19 名
5 月 10 日	糖尿病:カナグル・テネリア	20 名
5 月 17 日	気管支喘息:テリルジー	18 名
5 月 31 日	糖尿病:リベルサス	21 名
6 月 7 日	個人情報保護法	23 名
6 月 14 日	腎性貧血:エナロイ	20 名
6 月 21 日	くる病	17 名
6 月 28 日	重低血糖:ﾊﾞｸｽﾐｰ点鼻	21 名
7 月 5 日	双極性障害:エビリファイ	21 名
7 月 12 日	脱水・熱中症:OS1	20 名
7 月 19 日	膵外分泌機能不全:リパクレオン	20 名
7 月 26 日	クラシエ漢方の特徴と暮らしの不調	19 名
8 月 2 日	中性脂肪:パルモディア	19 名
8 月 9 日	癌性疼痛・カンジタ症	18 名
8 月 23 日	絆創膏	19 名
8 月 30 日	2 型糖尿病:カナグル	19 名
9 月 6 日	高血圧症:エンレスト	19 名
9 月 13 日	慢性便秘症:ｱﾐﾃｨｰｻﾞ	21 名
9 月 20 日	統合失調症:レキサルティ	20 名
9 月 27 日	糖尿病:スーグラ	22 名
10 月 4 日	膵外分泌機能不全:リパクレオン	19 名
10 月 11 日	便失禁:大建中湯	21 名
10 月 18 日	高血圧症:ユリス	19 名

10 月 25 日	気管支喘息:テリルジー	21 名
11 月 1 日	統合失調症:エビリファイ	18 名
11 月 8 日	2 型糖尿病:ツイミーグ	21 名
11 月 15 日	便秘症:ﾓﾋﾞｺｰﾙ･ｸﾞｰﾌｲｽ	19 名
11 月 22 日	胃薬:エメソプラゾール	21 名
11 月 29 日	医療安全対策	23 名
12 月 6 日	骨粗鬆症:ﾘｸﾗｽﾄ	19 名
12 月 13 日	骨粗鬆症:イベニティ	19 名
12 月 20 日	COPD:ﾋﾞﾚｰｽﾞﾄﾘ	16 名
12 月 27 日	皮膚掻痒症	21 名
1 月 10 日	糖尿病:重症低血糖	23 名
1 月 17 日	2 型糖尿病・早期治療強化	20 名
2 月 28 日	爪白癬:メイリン	13 名
3 月 7 日	過活動膀胱:ベオーバ	19 名
3 月 14 日	2 型糖尿病:マンジャロ	17 名
3 月 28 日	慢性便秘症:ｱﾐﾃｨｰｻﾞ	17 名

R4 年度勉強会　実施回数　42 回

愛全園 NST 実施状況

・実施回数 72 回（R4 年 4/1～R5 年 3/31）

1　保険診療所としての地域医療への貢献（外来診療）

「漢方専門外来」

「一般内科外来」

外来受診人数・・・・・2,347 人／年（R4 年 4/1～R5 年 3/31）

2　昭島市医師会員としての地域貢献

1）拝島第一小学校校医　蓮村友樹久（R4 年 4/1～R5 年 3/31）

学級・学年・学校閉鎖等の判断・指示、養護教諭との連携

未就学児検診　１回/年

内科検診　３回/年

５年生宿泊教室前検診　１回/年

６年生移動教室前検診　１回/年

2）東京都拝島高等学校　蓮村友樹久　（R4 年 4/1～R5 年 3/31）

学級・学年・学校閉鎖等の判断・指示、養護教諭との連携

内科検診　３回/年

3）３歳児検診　蓮村友樹久　１回/月　第２水曜日

4）北多摩地域認定産業医 蓮村　友樹久　１回/月

5）女性相談　　蓮村幸兌　　１回/月

6）多職種連携ＩＣＴ事業

3　居宅療養管理指導事業

国保連介護保険サービスで医師の指示書の元に管理栄養士が行なう
「訪問栄養食事指導」２の２　（単価：5,240 円）

・実績　365 件

内訳：居宅療養管理指導　　241 件

介護予防居宅療養管理指導　124 件

4　認定栄養・ケアステーション愛全園（日本栄養士会公認）

１）「昭島市予防訪問栄養サービス委託事業」（市総合事業３種の内栄養部門）

管理栄養士が訪問サービス３ヵ月毎報告と請求書を市に提出している。

・実績　23 件　　単価：6,000 円（内自己負担 300 円）

２）「昭島市地域リハビリ委託事業」

栄養 CS では管理栄養士の派遣し、地域講習の講師の依頼に対応している。

（依頼状　➡　講師派遣　➡　終了後報告と請求書を市に提出）

派遣講師には勤務３時間として支払いを行っている。

・実績　2 件　（単価：6,000 円）

講習内容	場所	派遣講師	実施時期
健康維持の栄養	大神すみれ会地域サロン 大神町自治会館	川戸由美 Nt.	令和 4 年 7 月 16 日
健康維持の栄養	拝島ハイツ地域サロン 自治会管理事務所集会室	佐藤良子 Nt.	令和 5 年 ３月１日

３）研修生の受け入れ（①施設全体の栄養研修　②訪問栄養のみ体験研修）

・実績　０件　（ コロナ禍で受け入れ全部中止・保留）

システ学会臨床栄養師研修受託・０件（数年に渡る継続）

訪問栄養相談同行訪問研修・・・０件（１～３回見学等）

４）法人事業の地域還元事業・地域活動・包括支援事業への協力

・地域栄養講座（於；イトーヨーカ堂拝島店毎/28 日ポイント day 開催）

講習内容		講師・担当者	実施月日
赤・黄・緑を一皿に （栄養・献立の基本）	（秋）ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ.ｶﾘﾌﾗﾜｰ.ﾅﾒｺ.ｻﾂﾏｲﾓ.ｴﾋﾞｶﾝﾊﾟﾁ.ｽﾐｲｶ.戻鰹ｻﾊﾞﾌﾞﾘ.柿ﾐｶﾝﾘﾝｺﾞ	南包括・西包括 栄養 CS 寺本礼子 Nt.	令和 4 年 11 月 28 日
朝食のポイント 体内時計は朝食から	（冬）ｶｲﾜﾚ.ﾐﾂﾊﾞ大根.ﾒｷｬﾍﾞﾂ、白菜.ｱｲｺﾞ.ｽｽﾞｷ.苺.干し柿.柚.ﾐｶﾝ	南包括・西包括 栄養 CS 市原幸文 Nt.	令和 4 年 12 月 18 日
体を温める食事 （健康食は代謝 up）	冬）ﾁｼﾞﾚﾎｳﾚﾝ草.子芋.蓮根.金時人参.ｾﾘ.ｺﾞﾎﾞｳ牡蠣･鯖ﾌﾞﾘ.ｷﾝｶﾝ	南包括・西包括 栄養 CS 佐藤良子 Nt.	令和 5 年 1 月 28 日
元気に長生きするには （何を如何食べるか）	冬）ﾎｳﾚﾝ草･牡蠣･ｻﾜﾗ.ｻﾊﾞﾋﾗﾒ八朔.ﾃﾞｺﾎﾟﾝ	南包括・西包括 栄養 CS 佐藤悦子 Nt.	令和 5 年 2 月 28 日
たんぱく質どれ位摂れば良いか（簡単な肉魚卵の取方）	（春）菜花･春菊・春ｷｬﾍﾞﾂ・ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ・ｽｽﾞｷ･ｱｻﾘ、苺	南包括・西包括 栄養 CS 矢高由美子 Nt.	令和 5 年 3 月 28 日

５）法人管理栄養士による各地域の中での活動

内容	場所・会場	講師・担当者	実施時期
【居宅栄養会議】 症例検討・理事長講座 アドバイス等勉強会も含む（12 回/年）	ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ愛全園	蓮村幸兌 Dr 栄養ｹｱ･ｽﾃｰｼｮﾝ Nt. 管理栄養士　９名	令和 4 年 4 月～ 令和 5 年 3 月
【地域ケア会議参加】 主に下記症例検討 ・認知症利用者家族の心配な点地域役割 ・精神疾患家族が心配な点地域の役割 ・トラブルの処理対応から地域の役割 ・誤嚥性肺炎の心配と誤解）対応策	昭島市役所会議室等	川戸由美 Nt. 佐藤悦子 Nt.	令和 4 年 6 月 2 日 令和 4 年 9 月 7 日 令和 4 年 9 月 29 日 令和 5 年 3 月 1 日
【NST 連携と勉強会】 ・医療介護の昭島地域と講習 ・症例検討 ・昭島 NST（４回） ・世話人会（４回）	オンライン	蓮村幸兌 Dr 佐藤悦子 Nt. 川戸由美 Nt. 本多梨加 CM. 小倉真理子 Nt. 佐藤良子　　等	令和 4 年 4 月 14 日 令和 4 年 6 月 15 日 令和 4 年 7 月 16 日 令和 4 年 9 月 21 日 令和 4 年 10 月 13 日 令和 4 年 12 月 14 日 令和 5 年 1 月 19 日 令和 5 年 3 月 15 日
【健康サロン】 ・健康確認声掛け目的の健康講座 ・地域サロン５回	つつじが丘団地集会所・昭和町自治会上友会館・大神町自治会館　等	川戸由美 （他：社協登録原則昭島在住ボランテアと供に佐藤、原島、地域ボランティア）	令和 4 年 5 月 21 日 令和 4 年 6 月 4 日 令和 4 年 7 月 16 日 令和 4 年 11 月 12 日 令和 4 年 12 月 17 日 令和 5 年 3 月 18 日

【市民健康講座検討会議】 令和４年度講座プラン決定	昭島市役所介護課会議室	市介護課長他４名 蓮村幸兌Dr、 管理栄養士３名	令和４年５月11日 令和４年12月16日
【元気食講座】（昭島市介護課依頼） 第一回 市民健康講座・歯と唾液の話・100歳目指し健康に生きる･たんぱく質の取り方･(訪問サービス事業のPR) 第二回 市民健康講座 ①骨粗鬆症②高血圧減塩③免疫力アップの食事、食事なんでも相談会（訪問サービス事業の周知PR)出席３６名	昭島市役所市民ホール、アイポック集会室	（第一回）蓮村理事長・生駒歯科医師・栄養CS佐藤悦子Nt.原島教子 Nt.（ｻﾎﾟｰﾄ：川戸由美Nt.矢高由美子Nt.） （第二回）栄養CS佐藤悦子 Nt.小倉真理子Nt.川戸由美Nt.	（第一回） 令和４年７月12日 （第二回） 令和５年３月24日
【認知症予防月間 くじらの教室の授業】 “認知症予防と食事の大切さ 依頼）昭島市認知症月間企画昭島市東西南北包括支援S・社会福祉協議会	昭島エンシス	川戸由美Nt.	令和４年11月20日
【市労連“男の料理教室”】 実習：サンドイッチ２種 出席３５名と役員 依頼）昭島市老人会（市労連講習部門）	アイポック調理実習室	川戸由美Nt. 地域ボランテア楠木真紀Nt.	令和５年３月25日
【古河市民ｾﾝﾀｰ地域ｾﾐﾅｰ】 １中高年のための食育講 ２熱中症対策水分補給講 ３見過ごせない糖尿病講	晃陽看護栄養専門学校	市原幸文Nt.	令和４年４月22日 令和４年６月18日 令和４年10月１日
【多摩立川保健所保健所摂食嚥下研修会】 ・参加のみ 菊谷先生の講習zoom 嚥下困難の食事	多摩立川保健所保健所	ｹｱ･ｽﾃｰｼｮﾝの出られる管理栄養士３名 参加（佐藤悦子他２名）	令和５年１月５日
在宅医療栄養管理研究会 講演①フレール予防 栄養講座①おかずﾌｧｰｽﾄの根拠②時間栄養学、勉強会	在宅医療栄養管理研究会 ハイブリット（オンライン会場：市ヶ谷東京家政学院大学）	水野英彰先生 川戸由美Nt. 市原幸文Nt.	令和４年５月22日
【生活支援会議】 ・参加	昭島市全大会	佐藤悦子Nt.	令和５年３月23日
【在宅医療栄養管理研究会】 ・発表挨拶	日本在宅医療連合学会	佐藤悦子Nt.	令和４年７月23日 令和４年７月24日
【日本健康・栄養ｼｽﾃﾑ学会】 ・参加	オンライン参加	栄養CS佐藤悦子Nt. 栄養課中野ももNt.	令和４年６月18日 令和４年６月19日
【タウンミーテング褥瘡研究会】 ・研究会にて発表 特養での栄養管理の取り組み始まった栄養	オンライン参加	佐藤悦子Nt. 栄養課中野ももNt.	令和４月８月22日